

## 目次

調査概要.....	2
調査結果.....	4
1. マイナンバーカードに対する認識.....	4
1-1. マイナンバーカード取得状況.....	4
1-2. マイナンバーカード申請時期.....	5
1-3. マイナンバーカード携帯状況.....	6
1-4. マイナンバーカード取得(予定)理由.....	7
1-5. マイナンバーカード取得後の利用先既存サービス.....	8
1-6. マイナンバーカード未取得理由.....	10
1-7. マイナンバーカードの必要性.....	11
2. マイナンバーカードによる既存サービスに対する反応.....	12
2-1. マイナンバーカードによる既存公共(行政)サービスに対する利用意向.....	12
2-2. 利用したい既存公共(行政)サービスが特にならない理由.....	13
2-3. マイナンバーカードによる既存民間サービスに対する利用意向.....	15
2-4. 利用したい既存民間サービスが特にならない理由.....	17
2-5. マイナンバーカード未取得者のマイナポイント認知度.....	18
2-6. マイナポイント認知層の非申請理由.....	19
3. マイナンバーカードによる新規サービスに対する反応.....	21
3-1. 新規サービスに対する利用意向.....	21
3-2. サービスカテゴリー毎の利用意欲者層.....	24
3-3. 新規サービスの分布.....	33
4. マイナンバーカード申請意向と阻害要因.....	34
4-1. 新規サービス利用意欲者のマイナンバーカード申請意向.....	34
4-2. 申請したくない理由.....	35

## 調査概要

1. 調査対象: NTTコム リサーチ クローズド調査(\*1)
2. 調査方法: 非公開型インターネットアンケート
3. 調査期間: 2021年6月22日～2021年6月24日
4. 有効回答者数: 1,079人
5. 標本設計: 国内対象の20～69歳までの男女を対象  
なお年齢は10歳刻みで均等に割り付け、男女についても均等に割り付けを実施(\*2)
6. 回答者の属性(\*3) (\*4)

### 【年齢】

	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
20代	212	19.6
30代	216	20.0
40代	218	20.2
50代	215	19.9
60代以上	218	20.2

### 【性別】

	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
男性	539	50.0
女性	540	50.0
その他	0	0.0

### 【同居家族】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
子供	351	32.5
配偶者	548	50.8
父親・母親	337	31.2
祖父・祖母	26	2.4
兄弟・姉妹	106	9.8
その他	11	1.0
同居家族はいない (1人暮らし)	201	18.6

### 【職業】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
学生	18	1.7
専業主婦・主夫	172	15.9
会社員	425	39.4
会社役員	10	0.9
公務員・団体職員	40	3.7
自営業・個人事業主	60	5.6
パート・アルバイト・フリーター	177	16.4
無職	164	15.2
その他	13	1.2

### 【同居家族のマイナンバーカード取得状況】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
子供	143	16.3
配偶者	290	33.0
父親・母親	117	13.3
祖父・祖母	6	0.7
兄弟・姉妹	28	3.2
その他	2	0.2
いずれも取得していない	378	43.1
分からない	75	8.5

【居住地】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
北海道	58	5.4
青森県	9	0.8
岩手県	7	0.6
宮城県	20	1.9
秋田県	9	0.8
山形県	8	0.7
福島県	10	0.9
茨城県	24	2.2
栃木県	9	0.8
群馬県	10	0.9
埼玉県	60	5.6
千葉県	62	5.7
東京都	184	17.1
神奈川県	92	8.5
新潟県	23	2.1
富山県	8	0.7
石川県	9	0.8
福井県	3	0.3
山梨県	6	0.6
長野県	7	0.6
岐阜県	14	1.3
静岡県	26	2.4
愛知県	70	6.5

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
三重県	12	1.1
滋賀県	9	0.8
京都府	24	2.2
大阪府	81	7.5
兵庫県	60	5.6
奈良県	14	1.3
和歌山県	8	0.7
鳥取県	2	0.2
島根県	7	0.6
岡山県	11	1.0
広島県	19	1.8
山口県	6	0.6
徳島県	2	0.2
香川県	7	0.6
愛媛県	19	1.8
高知県	3	0.3
福岡県	29	2.7
佐賀県	7	0.6
長崎県	8	0.7
熊本県	7	0.6
大分県	3	0.3
宮崎県	3	0.3
鹿児島県	5	0.5
沖縄県	5	0.5

【オンライン授業/テレワーク導入状況】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
0日 (導入されていない)	470	63.3
1日	45	6.1
2日	42	5.7
3日	32	4.3
4日	22	3.0
5日以上	54	7.3
導入されているが、利用していない	78	10.5

【電子決済サービス利用状況】

項目	回答者数 (人)	割合 (%)
全体	1,079	100.0
よく利用している	346	32.1
たまに利用している	367	34.0
過去に利用したことがあるが、現在は利用していない	34	3.2
全く利用したことがない	332	30.8

【補足】

(\*1) NTT コム リサーチ (<http://research.nttcoms.com/>) NTTコム オンライン・マーケティング・ソリューション株式会社 (<http://www.nttcoms.com/>) が提供する、高品質で付加価値の高いインターネットリサーチ・サービスである。自社保有パネルとして国内最大級の延べ 217 万人の登録モニターを擁し、消費者向け調査から、法人向け調査、グループインタビューまで、さまざまな市場調査ニーズに対応している。(モニターの人数は 2021 年 4 月現在)

(\*2) アンケート調査回収の便宜上、有効回答者数が 1,000 人を超えた結果、割り付け数に端数の発生あり。

(\*3) 回答者の属性は、回答者のアンケート上の自己申告に基づいている。

(\*4) 回答の構成比は、小数第 2 位を四捨五入しているため、各構成比の合計は 100.0%にならない場合がある。

## 調査結果

マイナンバーカードによるサービス拡充に向けた検討がここ数年、政府により行われている。デジタル庁の新設、そして新型コロナウイルス感染症に伴うデジタル化により、当検討は更に加速化していくと考えられる。

そこで、本調査ではマイナンバーカードによる既存サービスに対する反応を調査すると同時に、今後考えられる新規サービスを、日常化を意識した民間系のサービスを中心に考案し、性別、年代、年代×性別ごとの反応を調査した。<sup>1,2</sup>

### 1. マイナンバーカードに対する認識

#### 1-1. マイナンバーカード取得状況

全体で見ると「取得している、もしくは取得申請中である」が54.3%と最も高く、次いで「取得していないし、今後も申請する予定はない」(32.3%)、「取得していないが、申請する予定である」(13.3%)の順となった。

性別で見ると、男女ともに「取得している、もしくは取得申請中である」を最も多く選択していたが、男性の方が選択した人の割合が高かった。

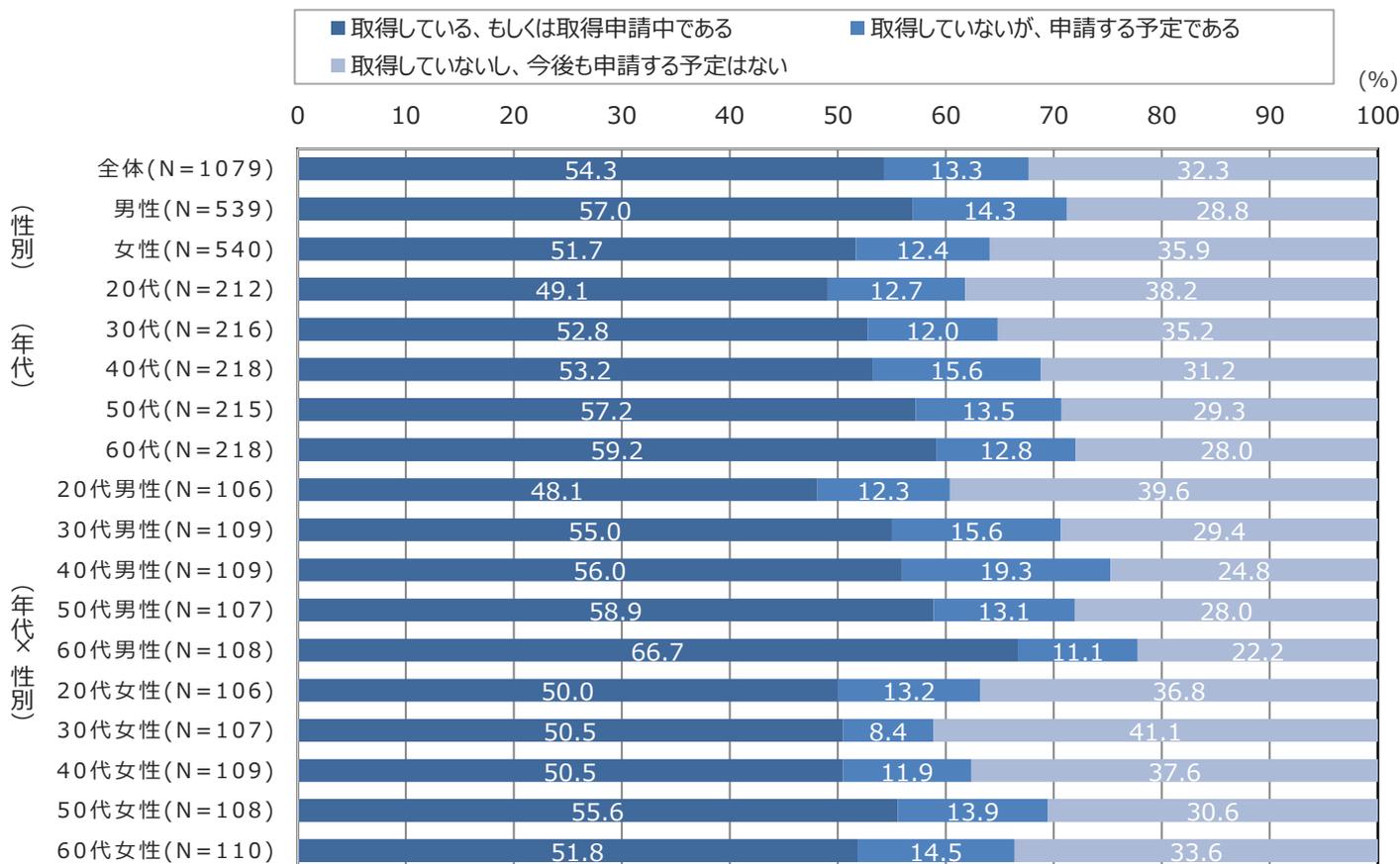
年代で見ると「取得している、もしくは取得申請中である」人の割合が年代順に高くなっている。

年代×性別で見ると「取得している、もしくは取得申請中である」人の割合が40代男性、50代男性、60代男性の順に高くなっている。【図表 1-1-1】マイナンバーカード取得状況(N=1,079)

<sup>1</sup> サンプル数が30以下の場合、記述を割愛（例：1-5.マイナンバーカード取得後の利用先既存サービスの30代・50代・60代）

<sup>2</sup> ウェイトバック集計後に得たデータが、ウェイトバック集計前と僅差だったため、後者のデータで図表等を作成

【図表 1-1-1】マイナンバーカード取得状況(N=1,079)



## 1-2. マイナンバーカード申請時期

1-1. で「取得している、もしくは取得申請中である」を選択した人に、マイナンバーカードの申請時期を調査した。

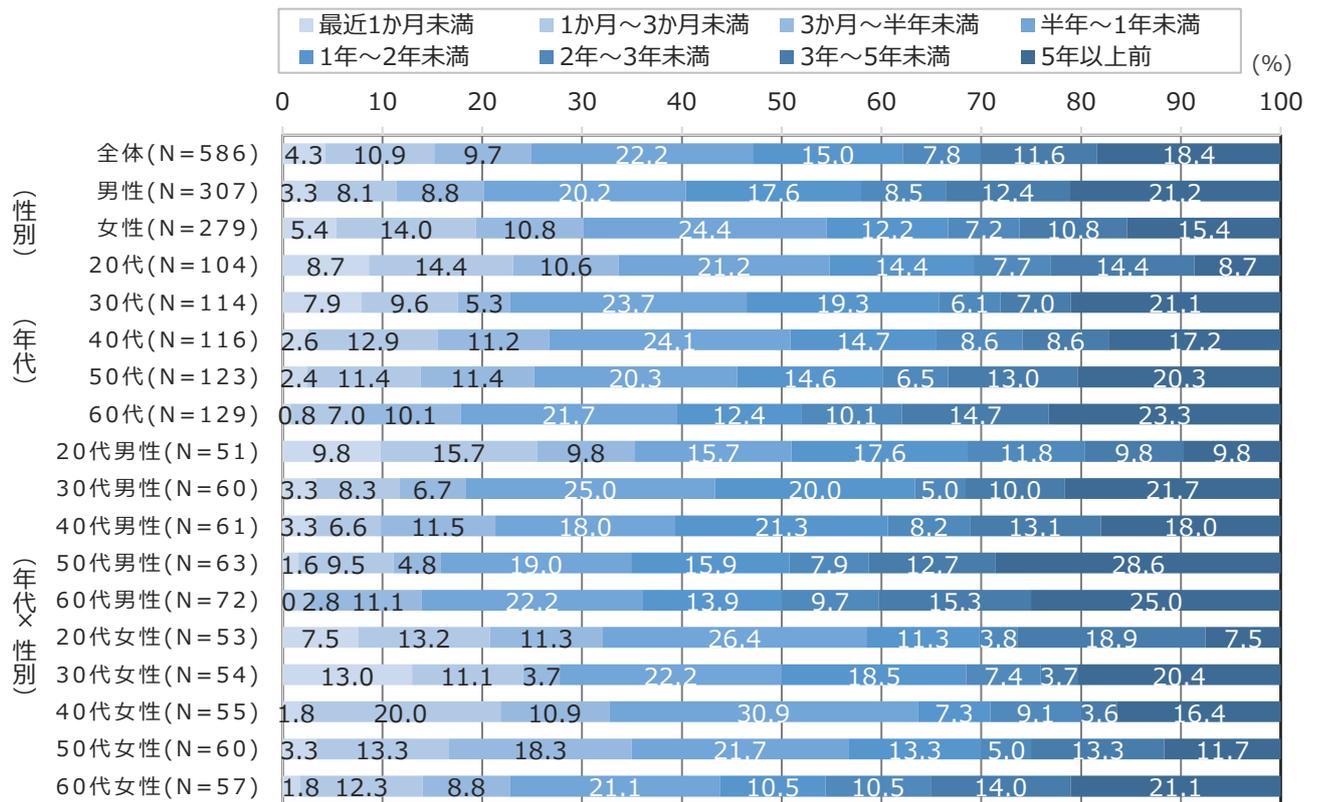
全体でみると「半年～1年未満」が22.2%と最も高く、次いで「5年以上前」(18.4%)、「1年～2年未満」(15.0%)の順となった。

性別でみると、男性は「5年以上前」を、女性は「半年～1年未満」を最も選択していた。

年代でみると、申請時期が早い選択肢を選択した人の割合が年代順に高くなっている傾向にあり、中でも20代と40代は50%以上の人が1年未満に申請していた事が分かる。

年代×性別でみると、50代男性は「5年以上前」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高かった。一方で、20代女性は「5年以上前」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。【図表 1-2-1】マイナンバーカード申請時期(N=586)

【図表 1-2-1】 マイナンバーカード申請時期 (N=586)



### 1-3. マイナンバーカード携帯状況

1-1. で「取得している、もしくは取得申請中である」を選択した人に、マイナンバーカードの携帯状況を調査した。

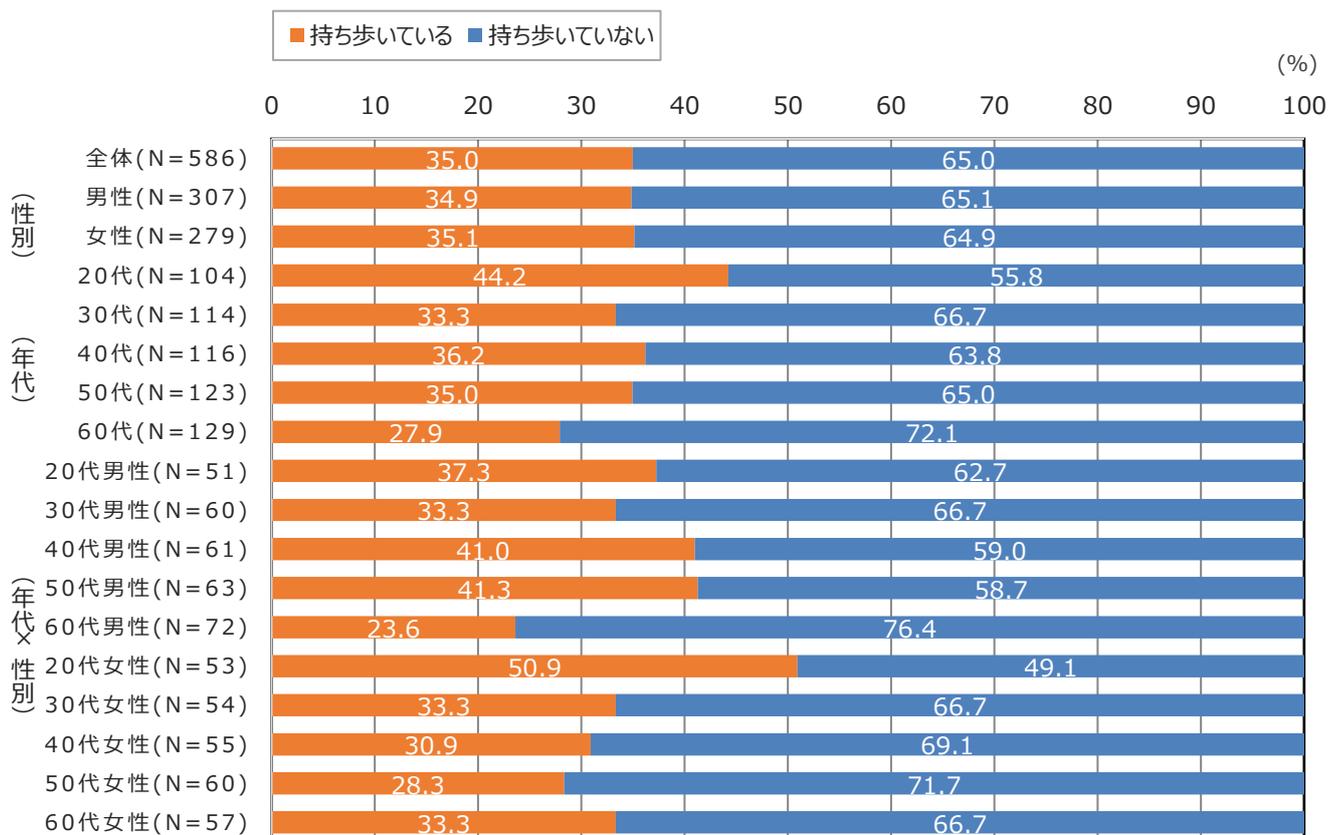
全体で見ると「持ち歩いている」が 65.0%、「持ち歩いている」が 35.0%となった。

性別で見ると、男女ともに全体の割合と僅差であった。

年代で見ると「持ち歩いている」を選択した人の割合が 20代、40代、50代の順に高かった。

年代と性別で見ると、60代男性は「持ち歩いている」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。一方で、20代女性は「持ち歩いている」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高かった。【図表 1-3-1】マイナンバーカード携帯状況 (N=586)

【図表 1-3-1】 マイナンバーカード携帯状況 (N=586)



#### 1-4. マイナンバーカード取得(予定)理由

1-1. で「取得している、もしくは取得申請中である」または「取得していないが、申請する予定である」を選択した人に、マイナンバーカード取得(予定)理由を調査した。

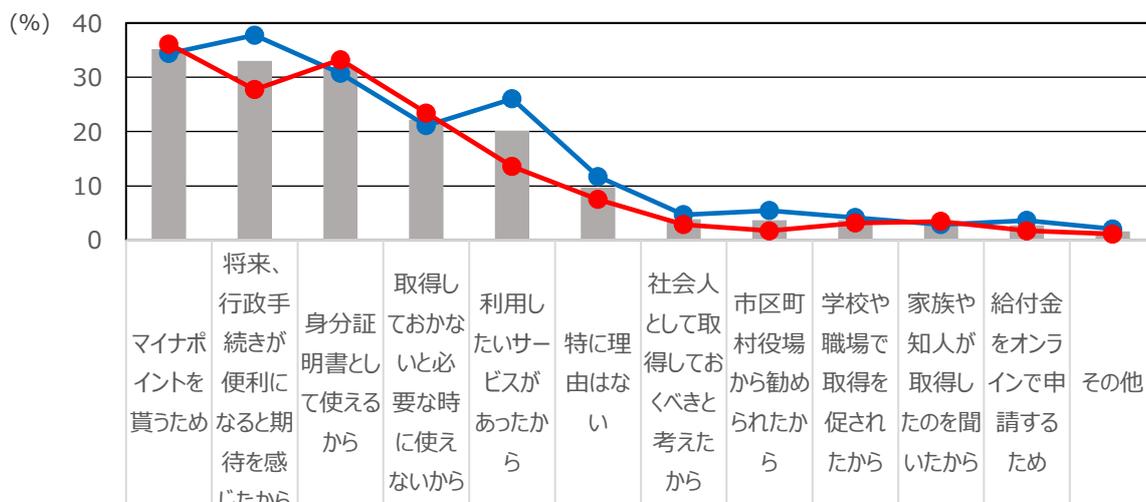
全体でみると「マイナポイントを貰うため」が35.2%と最も高く、次いで「将来、行政手続きが便利になると期待を感じたから」(33.0%)、「身分証明書として使えるから」(31.9%)の順となった。

性別でみると、男性は「将来、行政手続きが便利になると期待を感じたから」を、女性は「マイナポイントを貰うため」を最も選択していた。また男女間で10%以上の乖離があったのは「将来行政手続きが便利になると期待を感じたから」、「利用したいサービスがあったから」であった。

年代でみると、20代は「マイナポイントを貰うため」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。また60代は、全体と比べ「将来、行政手続きが便利になると期待を感じたから」を選択した人の割合が10%以上高かった。

年代×性別でみると、20代男性は「特に理由はない」、「利用したいサービスがあったから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「マイナポイントを貰うため」を選択した人の割合は10%以上低かった。60代男性は「マイナポイントを貰うため」、「将来、行政手続きが便利になると期待を感じたから」を選択した人の割合が全体と比べ10%高かった。20代女性は、全体と比べ「マイナポイントを貰うため」を選択した人の割合が10%以上低かった。40代女性は「将来、行政手続きが便利になると感じたから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。60代女性は「身分証明書として使えるから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「利用したいサービスがあったから」を選択した人の割合が10%以上低かった。【図表 1-4-1】マイナンバーカード取得(予定)理由(N=730)(複数回答)

【図表 1-4-1】マイナンバーカード取得(予定)理由(N=730) (複数回答)



	マイナポイントを貰うため	将来、行政手続きが便利になると期待を感じたから	身分証明書として使えるから	取得しておかないと必要な時に使えないから	利用したいサービスがあったから	特に理由はない	社会人として取得しておくべきと考えたから	市区町村役場から勧められたから	学校や職場で取得を促されたから	家族や知人が取得したのを聞いたから	給付金をオンラインで申請するため	その他
■ 全体(n=730)	35.2	33.0	31.9	22.2	20.1	9.7	3.8	3.7	3.7	3.2	2.7	1.6
● 男性(n=384)	34.4	37.8	30.7	21.1	26.0	11.7	4.7	5.5	4.2	2.9	3.6	2.1
● 女性(n=346)	36.1	27.7	33.2	23.4	13.6	7.5	2.9	1.7	3.2	3.5	1.7	1.2
20代(n=131)	22.9	26.7	29.8	16.8	27.5	16.8	6.1	4.6	1.5	4.6	2.3	1.5
30代(n=140)	34.3	31.4	31.4	15.7	20.0	14.3	4.3	0.7	1.4	1.4	2.1	0.0
40代(n=150)	40.7	28.0	29.3	24.0	23.3	6.0	2.0	3.3	5.3	5.3	3.3	1.3
50代(n=152)	36.2	34.2	28.3	25.0	19.1	7.2	3.9	3.9	6.6	3.9	2.6	0.7
60代(n=157)	40.1	43.3	40.1	28.0	12.1	5.7	3.2	5.7	3.2	0.6	3.2	4.5
20代男性(n=64)	23.4	29.7	32.8	15.6	34.4	21.9	4.7	7.8	0.0	4.7	4.7	1.6
30代男性(n=77)	29.9	36.4	31.2	15.6	23.4	15.6	5.2	1.3	2.6	0.0	3.9	0.0
40代男性(n=82)	37.8	32.9	29.3	18.3	29.3	8.5	2.4	4.9	4.9	6.1	2.4	1.2
50代男性(n=77)	32.5	41.6	26.0	26.0	27.3	10.4	6.5	5.2	7.8	2.6	2.6	1.3
60代男性(n=84)	45.2	46.4	34.5	28.6	17.9	4.8	4.8	8.3	4.8	1.2	4.8	6.0
20代女性(n=67)	22.4	23.9	26.9	17.9	20.9	11.9	7.5	1.5	3.0	4.5	0.0	1.5
30代女性(n=63)	39.7	25.4	31.7	15.9	15.9	12.7	3.2	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
40代女性(n=68)	44.1	22.1	29.4	30.9	16.2	2.9	1.5	1.5	5.9	4.4	4.4	1.5
50代女性(n=75)	40.0	26.7	30.7	24.0	10.7	4.0	1.3	2.7	5.3	5.3	2.7	0.0
60代女性(n=73)	34.2	39.7	46.6	27.4	5.5	6.8	1.4	2.7	1.4	0.0	1.4	2.7

### 1-5. マイナンバーカード取得後の利用先既存サービス

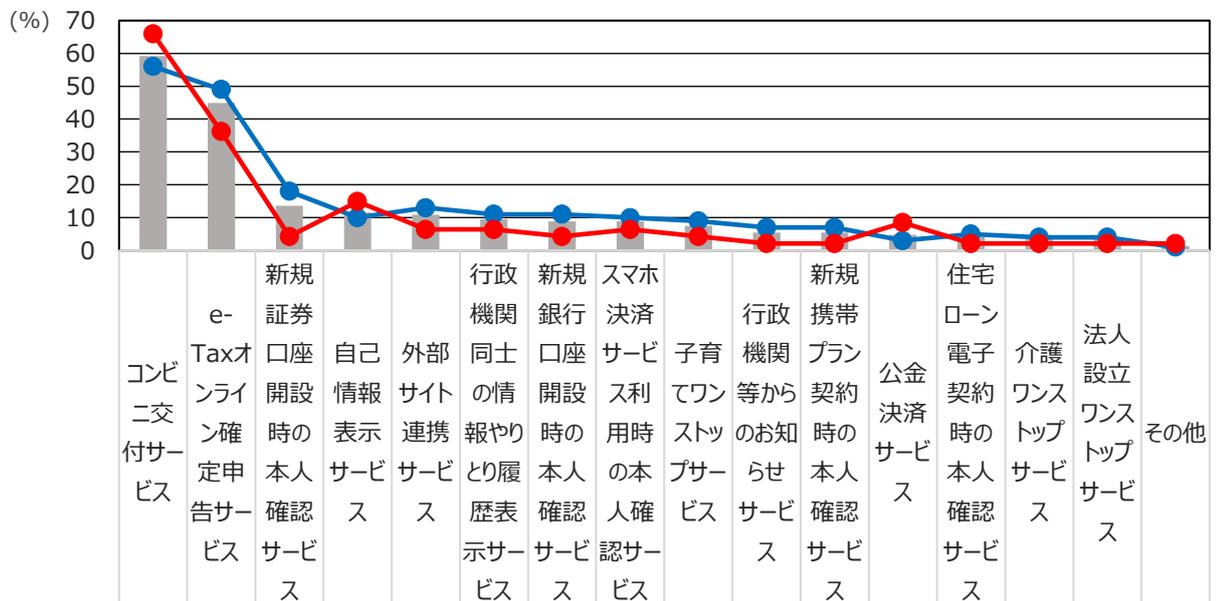
1-4. で「利用したいサービスがあったから」を選択した人に、マイナンバーカード取得後の利用先既存サービスを調査した。

全体で見ると「コンビニ交付サービス」が 59.2%と最も高く、次いで「e-Tax オンライン確定申告サービス」(44.9%)、「新規証券口座開設時の本人確認サービス」(13.6%)の順となった。

性別で見ると、男女ともに「コンビニ交付サービス」を最も選択していた。また男女間で 10%以上の乖離があったのは、全体の上位 3 位の選択肢であった。

年代でみると、20代は「e-Tax オンライン確定申告サービス」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。また、40代は「コンビニ交付サービス」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。【図表 1-5-1】マイナンバーカード取得後の利用先既存サービス(N=147) (複数回答)

【図表 1-5-1】マイナンバーカード取得後の利用先既存サービス(N=147) (複数回答)



	コンビニ交付サービス	e-Taxオンライン確定申告サービス	新規証券口座開設時の本人確認サービス	自己情報表示サービス	外部サイト連携サービス	行政機関の情報やりとり履歴表示サービス	新規銀行口座開設時の本人確認サービス	スマホ決済サービス利用時の本人確認サービス	子育てワンストップサービス	行政機関等からのお知らせサービス	新規携帯プラン契約時の本人確認サービス	公金決済サービス	住宅ローン契約時の本人確認サービス	介護ワンストップサービス	法人設立ワンストップサービス	その他
■ 全体(n=147)	59.2	44.9	13.6	11.6	10.9	9.5	8.8	8.8	7.5	5.4	5.4	4.8	4.1	3.4	3.4	1.4
● 男性(n=100)	56.0	49.0	18.0	10.0	13.0	11.0	11.0	10.0	9.0	7.0	7.0	3.0	5.0	4.0	4.0	1.0
● 女性(n=47)	66.0	36.2	4.3	14.9	6.4	6.4	4.3	6.4	4.3	2.1	2.1	8.5	2.1	2.1	2.1	2.1
20代(n=36)	52.8	33.3	16.7	16.7	11.1	13.9	8.3	8.3	11.1	2.8	5.6	5.6	5.6	5.6	2.8	0.0
30代(n=28)	71.4	32.1	14.3	3.6	3.6	10.7	10.7	10.7	7.1	7.1	7.1	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0
40代(n=35)	48.6	48.6	14.3	11.4	11.4	11.4	8.6	8.6	5.7	11.4	5.7	2.9	5.7	2.9	5.7	2.9
50代(n=29)	58.6	48.3	13.8	17.2	10.3	3.4	10.3	13.8	6.9	3.4	6.9	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4
60代(n=19)	73.7	73.7	5.3	5.3	21.1	5.3	5.3	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	5.3	5.3	0.0
20代男性(n=22)	54.5	36.4	22.7	9.1	18.2	13.6	13.6	13.6	13.6	4.5	9.1	4.5	9.1	9.1	4.5	0.0
30代男性(n=18)	72.2	38.9	22.2	5.6	5.6	16.7	11.1	16.7	11.1	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代男性(n=24)	41.7	45.8	16.7	8.3	8.3	12.5	8.3	4.2	4.2	12.5	4.2	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2
50代男性(n=21)	52.4	57.1	19.0	19.0	14.3	4.8	14.3	14.3	9.5	4.8	9.5	9.5	4.8	4.8	4.8	0.0
60代男性(n=15)	66.7	73.3	6.7	6.7	20.0	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0
20代女性(n=14)	50.0	28.6	7.1	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0
30代女性(n=10)	70.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40代女性(n=11)	63.6	54.5	9.1	18.2	18.2	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	9.1	0.0
50代女性(n=8)	75.0	25.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5
60代女性(n=4)	100.0	75.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

## 1-6. マイナンバーカード未取得理由

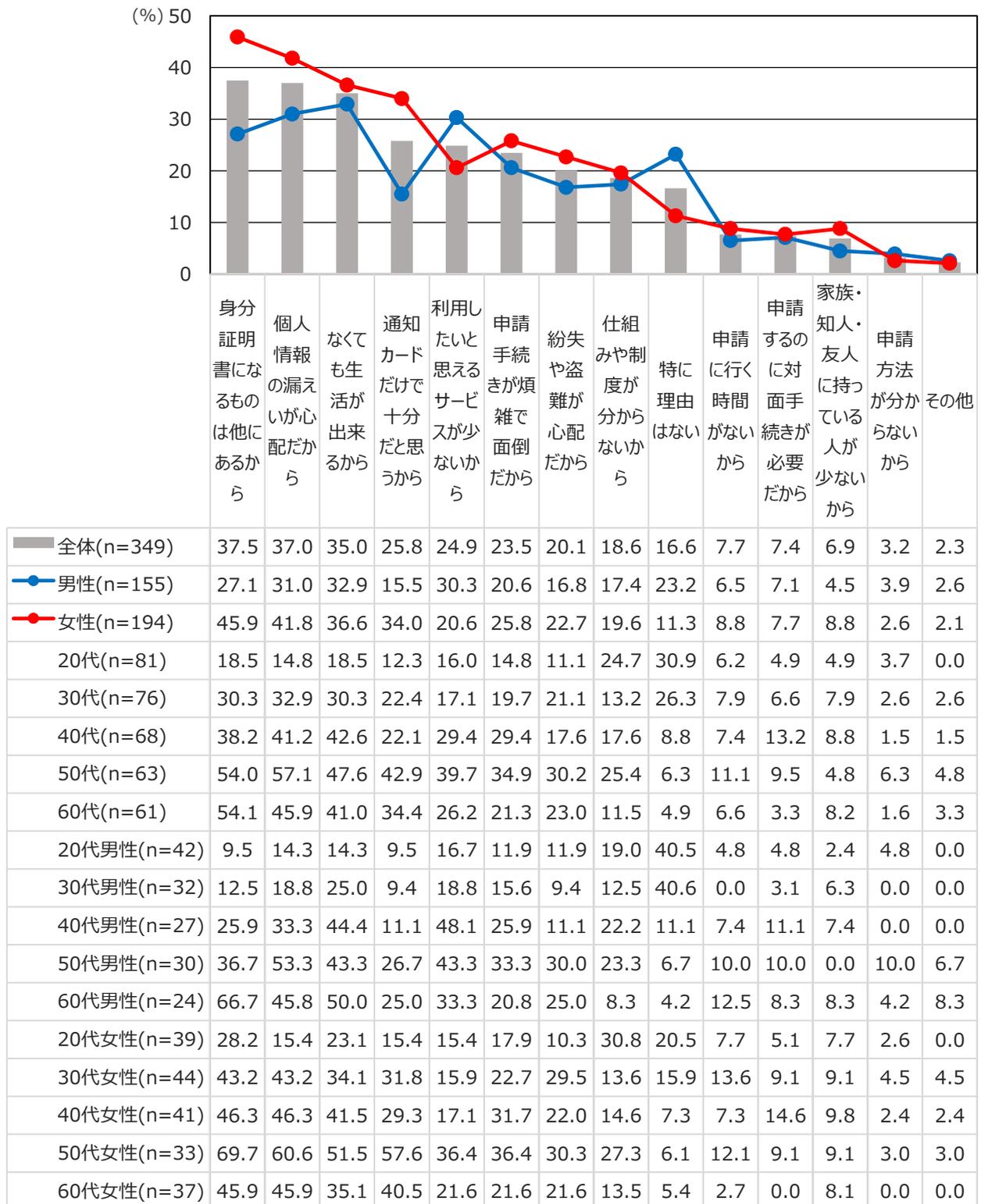
全体でみると「身分証明書になるものは他にあるから」が37.5%と最も高く、次いで「個人情報の漏えいが心配だから」(37.0%)、「なくても生活が出来るから」(35.0%)の順となった。

性別でみると、男性は「なくても生活が出来るから」を、女性は「身分証明書になるものは他にあるから」を最も選択していた。また男女間で10%以上の乖離があったのは「身分証明書になるものは他にあるから」、「個人情報の漏えいが心配だから」、「通知カードだけで十分だと思うから」、「特に理由はない」であった。

年代でみると、上位3位の選択肢を選択した人の割合が年代順に高くなっている。一方で「特に理由はない」を選択した人の割合は年代順に低くなっている。

年代×性別でみると、20・30代男性は上位3位を選択した人の割合は全体と比べ低く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。40代男性は「利用したいと思えるサービスが少ないから」を選択した人の割合が10%以上高く、一方で「身分証明書になるものは他にあるから」、「通知カードだけで十分だと思うから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。50代男性は「個人情報の漏えいが心配だから」、「利用したいと思えるサービスが少ないから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。20代女性は「仕組みや制度が分からないから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「個人情報の漏えいが心配だから」、「なくても生活が出来るから」、「通知カードだけで十分だと思うから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。50代女性は、全体の上位3位の選択肢に加え「通知カードだけで十分だと思うから」、「申請手続きが煩雑で面倒だから」、「紛失や盗難が心配だから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が10%以上低かった。60代女性は「通知カードだけで十分だと思うから」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が10%以上低かった。【図表 1-6-1】マイナンバーカード未取得理由(N=349)(複数回答)

【図表 1-6-1】マイナンバーカード未取得理由(N=349) (複数回答)



### 1-7. マイナンバーカードの必要性

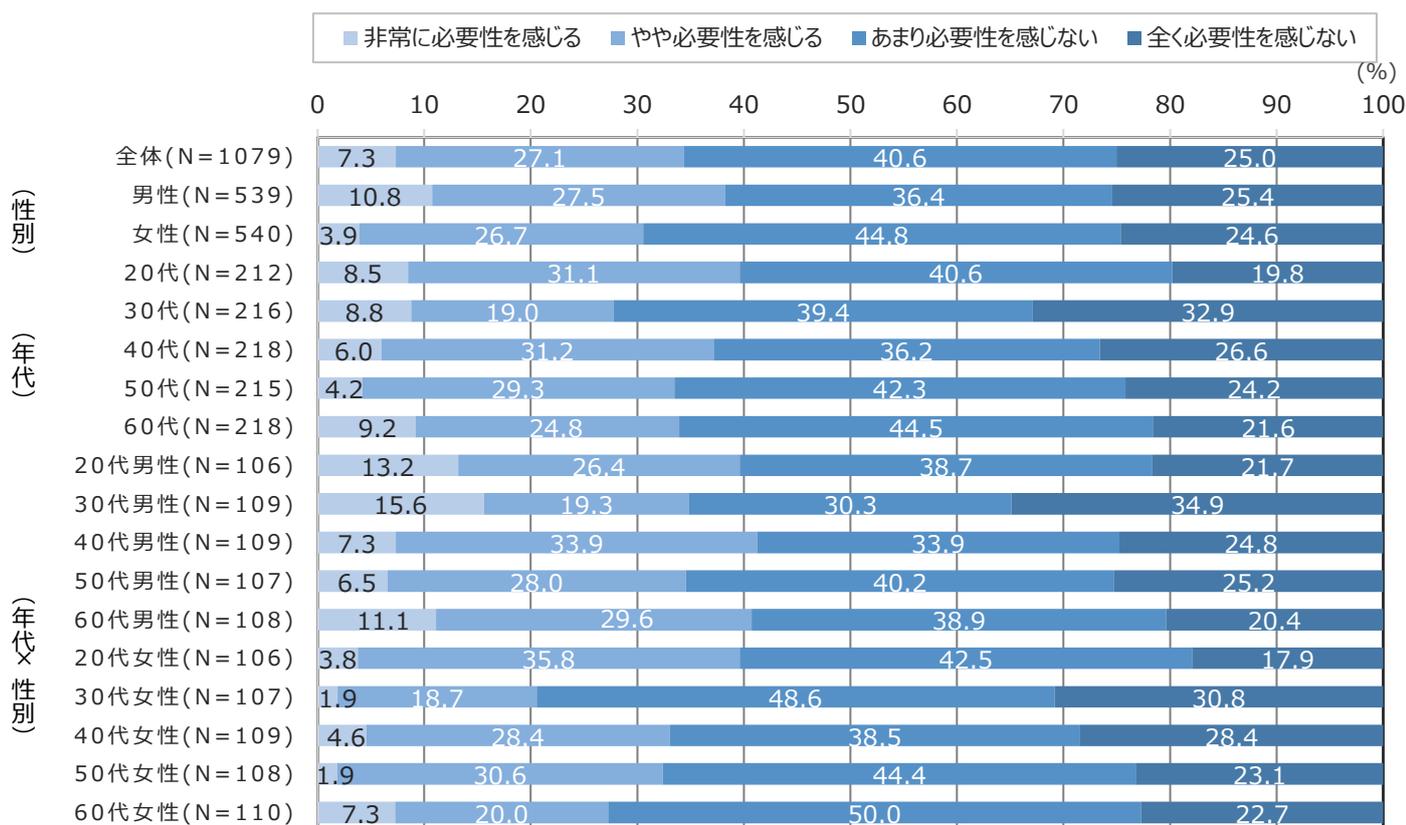
全体で見ると「あまり必要性を感じない」が40.6%と最も高く、次いで「やや必要性を感じる」(27.1%)、「全く必要性を感じない」(25.0%)の順となった。

性別でみると、男女ともに「あまり必要性を感じない」を最も選択していたが、男性の方が「非常に必要性を感じる」、「やや必要性を感じる」を選んだ人の割合が多かった。

年代でみると、20代は「全く必要性を感じない」を選択した人の割合が全体と比べ比較的lowかった。30代は「全く必要性を感じない」を選択した人の割合が全体と比べ比較的高く、一方で「やや必要性を感じる」を選択した人の割合が比較的高かった。

年代×性別でみると「非常に必要性を感じる」、「やや必要性を感じる」を選んだ人の割合が最も多かったのは40代男性であり、一方で最も少なかったのは30代女性であった。【図表 1-7-1】マイナンバーカードの必要性(N=1,079)

【図表 1-7-1】マイナンバーカードの必要性 (N=1,079)



## 2. マイナンバーカードによる既存サービスに対する反応

### 2-1. マイナンバーカードによる既存公共(行政)サービスに対する利用意向

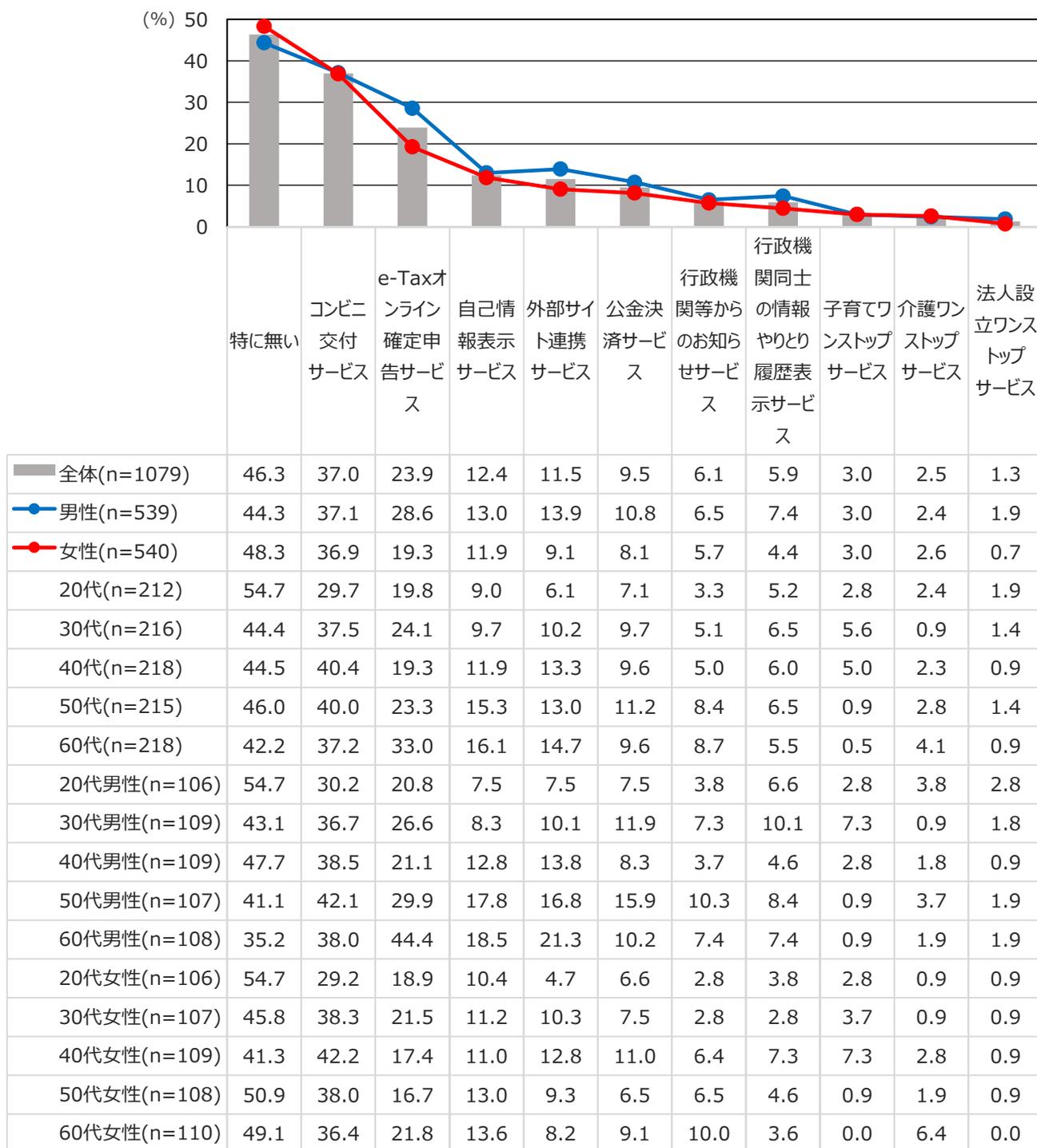
全体でみると「特に無い」が46.3%と最も高く、次いで「コンビニ交付サービス」(37.0%)、「e-Tax オンライン確定申告サービス」(23.9%)の順となった。

性別でみると、男女ともに「特に無い」を最も選択していた。

年代でみると、20代は「特に無い」を選択した人の割合が全体と比べ比較的高く、一方で「コンビニ交付サービス」、「外部サイト連携サービス」は比較的低かった。60代は「e-Tax オンライン確定申告サービス」を選択した人の割合が比較的高かった。

年代×性別でみると、60代男性は「e-Tax オンライン確定申告サービス」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「特に無い」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。【図表 2-1-1】利用したい既存公共(行政)サービス(N=1,079) (複数回答)

【図表 2-1-1】利用したい既存公共(行政)サービス(N=1,079) (複数回答)



## 2-2. 利用したい既存公共(行政)サービスが特にない理由

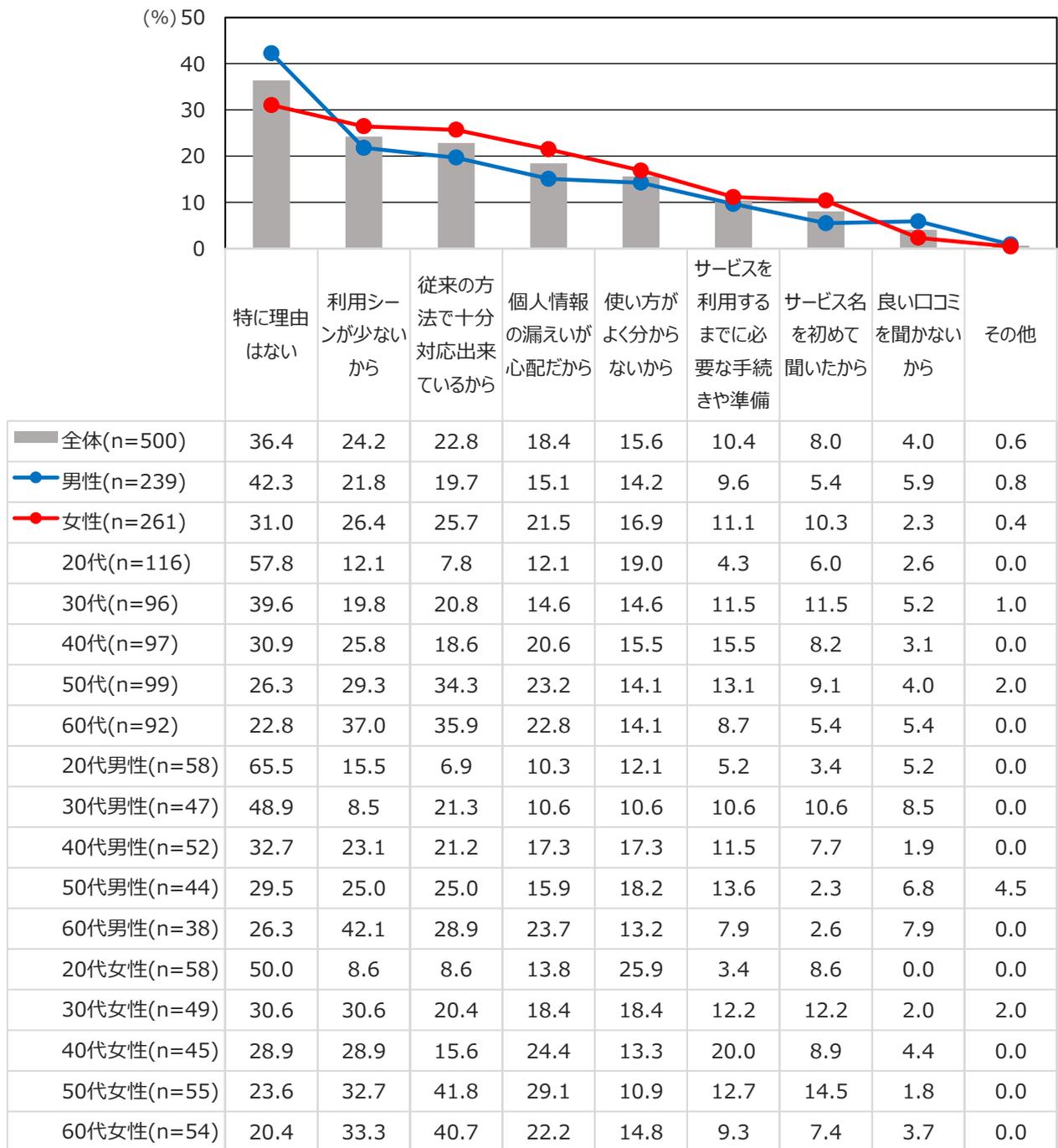
2-1. で「特に無い」を選択した人に、利用したい既存公共(行政)サービスが特にない理由を調査した。全体でみると「特に理由はない」が36.4%と最も高く、次いで「利用シーンが少ないから」(24.2%)、「従来の方法で十分対応出来ているから」(22.8%)の順となった。

性別でみると、男女ともに「特に理由はない」を最も選択していた。また男女間で10%以上乖離があったのは「特に理由はない」であった。

年代でみると、20代は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「利用シーンが少ないから」、「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合は10%以上低かった。50代は「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。60代は「利用シーンが少ないから」、「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合が高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。

年代×性別でみると、20代男性は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合は10%以上低かった。30代男性は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高く、一方で「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上低かった。60代男性は「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。20代女性は「特に理由はない」、「使い方がよく分からないから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高く、一方で「利用シーンが少ないから」、「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合は10%以上低かった。50代女性は「従来の方法で十分対応出来ているから」、「個人情報漏えいが心配だから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合は全体と比べて10%以上低かった。60代女性は「従来の方法で十分対応出来ているから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合は全体と比べて10%以上低かった。【図表 2-2-1】利用したい既存公共(行政)サービスが特にない理由(N=500)(複数回答)

【図表 2-2-1】利用したい既存公共(行政)サービスが特にならない理由 (N=500) (複数回答)



### 2-3. マイナンバーカードによる既存民間サービスに対する利用意向

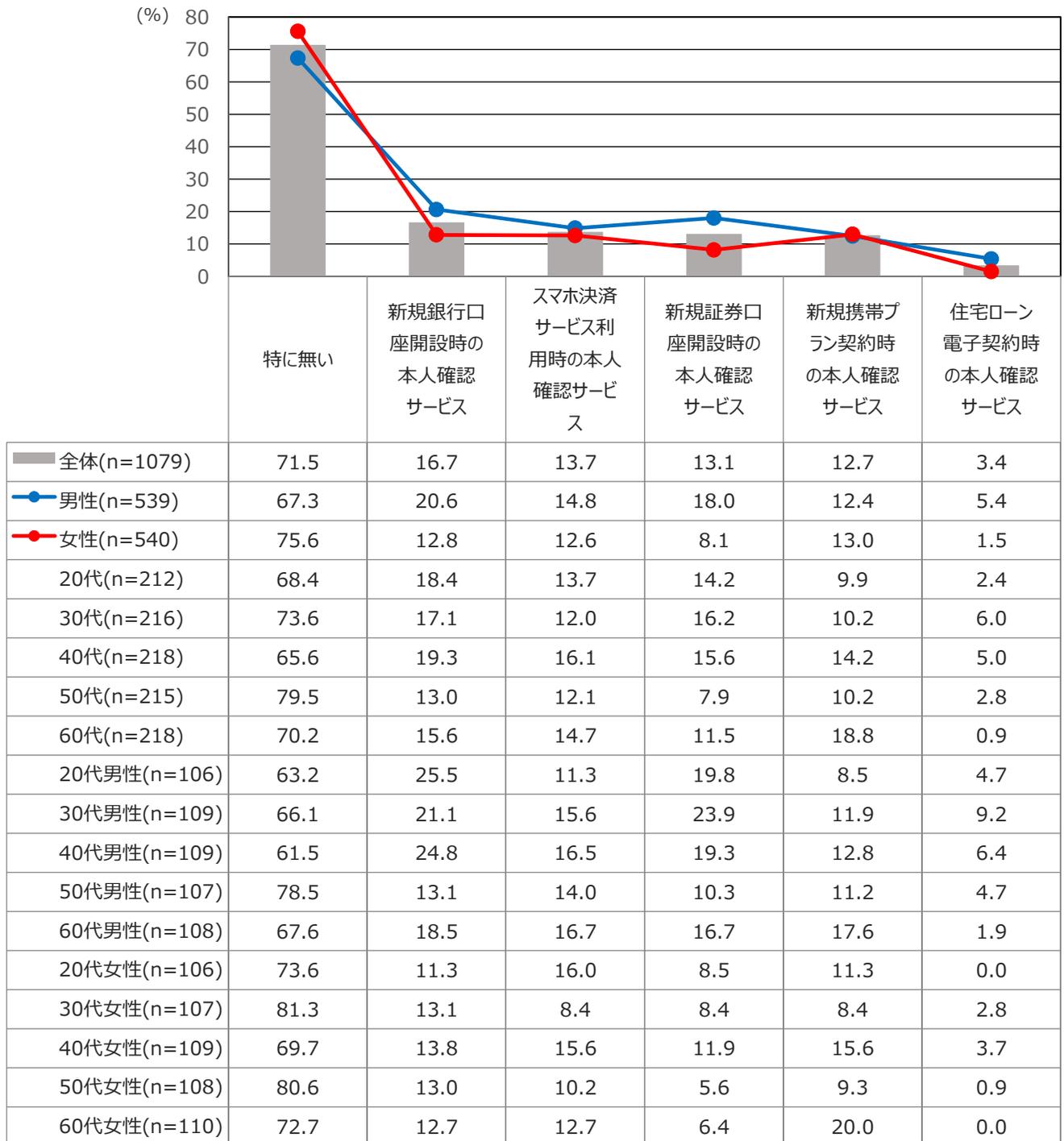
全体で見ると「特になし」が71.5%と飛んで最も高く、次いで「新規銀行口座開設時の本人確認サービス」(16.7%)、「スマホ決済サービス利用時の本人確認サービス」(13.7%)の順となった。

性別で見ると、男女ともに「特になし」を最も選択していた。

年代で見ると、40代は「特になし」を選択した人の割合は全体と比べ比較的低かった。50代は「特になし」を選択した人の割合は全体と比べ比較的高く、一方で「新規証券口座開設時の本人確認サービス」を選択した人の割合は低かった。60代は「新規携帯プラン契約時の本人確認サービス」を選択した人の割合は全体と比べ比較的高かった。

年代×性別でみると、30代男性は「新規証券口座開設時の本人確認サービス」を選択した人の割合は全体と比べ10%以上高かった。【図表 2-3-1】利用したい既存民間サービス(N=1,079) (複数回答)

【図表 2-3-1】利用したい既存民間サービス(N=1,079) (複数回答)



## 2-4. 利用したい既存民間サービスが特にならない理由

2-3. で「特に無い」を選択した人に、利用したい既存民間サービスが特にならない理由を調査した。

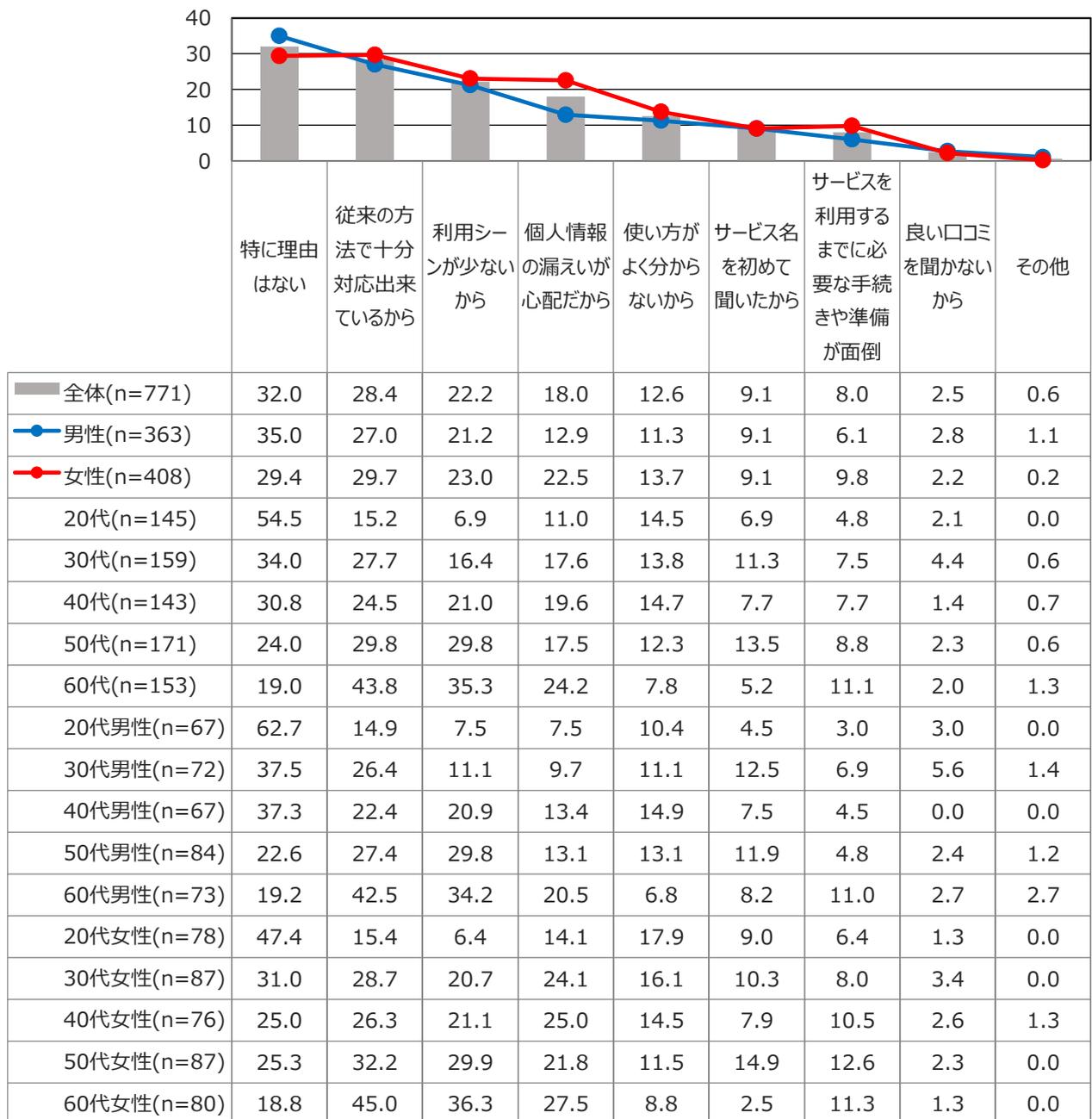
全体でみると「特に理由はない」が32.0%と最も高く、次いで「従来の方法で十分対応出来ているから」(28.4%)、「利用シーンが少ないから」(22.2%)の順となった。

性別でみると、男性は「特に理由はない」を、女性は「従来の方法で十分対応出来ているから」を最も選択していた。

年代でみると、20代は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高く、一方で「従来の方法で十分対応出来ているから」、「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上低かった。60代は「従来の方法で十分対応出来ているから」、「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。

年代×性別でみると、20代男女は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高く、一方で「従来の方法で十分対応出来ているから」、「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上低かった。20代男性は「個人情報の漏えいが心配だから」を選択した人の割合も全体と比べて10%以上低かった。30代男性は「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。60代男女は「従来の方法で十分対応出来ているから」、「利用シーンが少ないから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。【図表 2-4-1】利用したい既存民間サービスが特にならない理由(N=771)(複数回答)

【図表 2-4-1】利用したい既存民間サービスが特にならない理由 (N=771) (複数回答)



## 2-5. マイナンバーカード非所有者のマイナポイント認知度

1-1. で「取得していないし、今後も申請する予定はない」または「取得していないが、申請する予定である」を選択した人に、マイナポイント認知度の調査をした。

全体で見ると「知っている」が72.8%、「知らない」が27.2%となった。

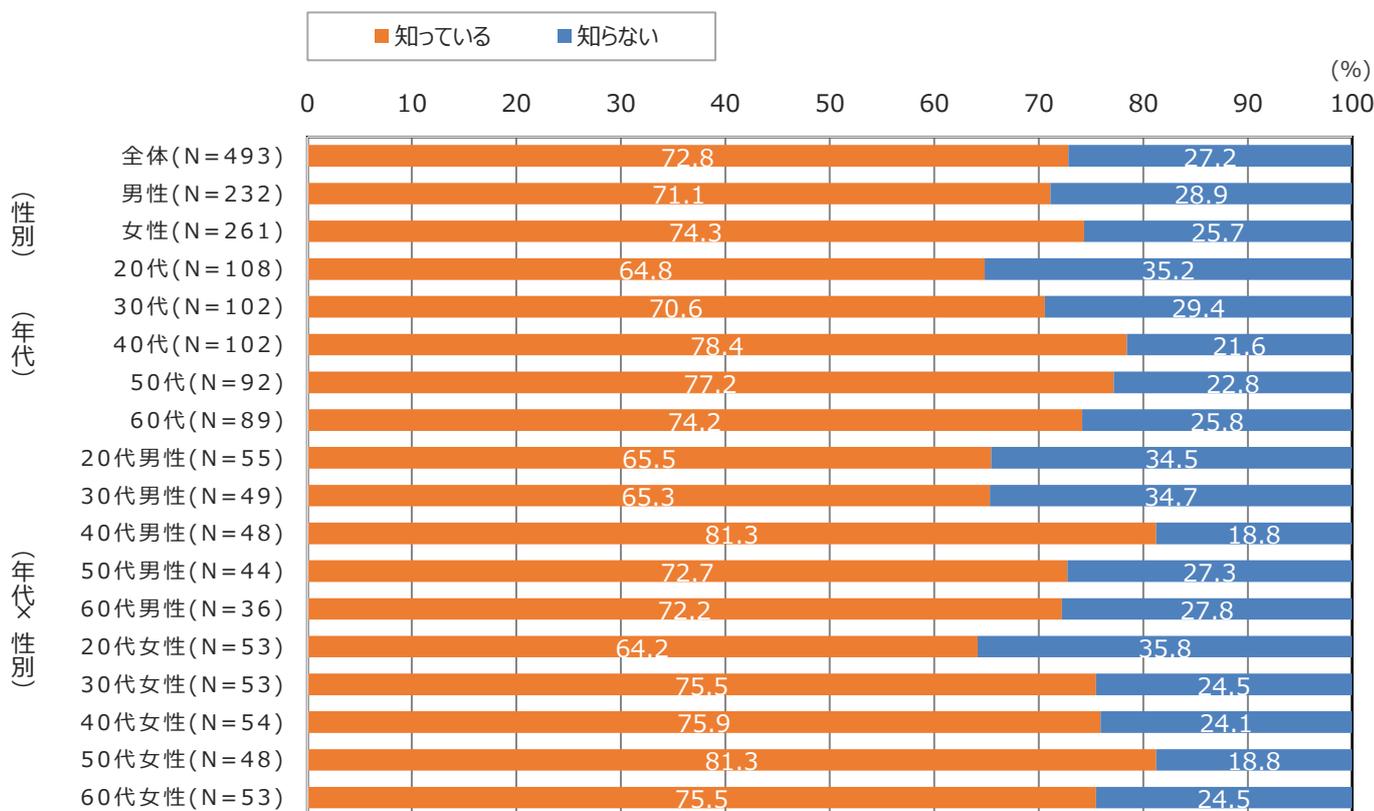
性別で見ると、男女ともに全体の割合と僅差であった。

年代で見ると、20代は「知っている」を選択した人の割合が全体と比べて比較的低い。一方で、40代は「知っている」を選択した人の割合が全体と比べて比較的高い。

年代×性別で見ると、20代男女および30代男性は「知っている」を選択した人の割合が全体と比べて比較的低い。一方で、40代男性および50代女性は「知っている」を選択した人の割合が全体と比べて比

較的高い。【図表 2-5-1】マイナンバーカード非所有者のマイナポイント認知度(N=493)

【図表 2-5-1】マイナンバーカード非所有者のマイナポイント認知度(N=493)



## 2-6. マイナポイント認知層の非申請理由

2-5. で「知っている」を選択した人に、マイナポイント非申請理由を調査した。

全体で見ると「マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから」が46.2%と最も高く、次いで「個人情報の漏えいが心配だったから」(29.2%)、「マイナンバーカードを所持したくなかったから」(24.2%)の順となった。

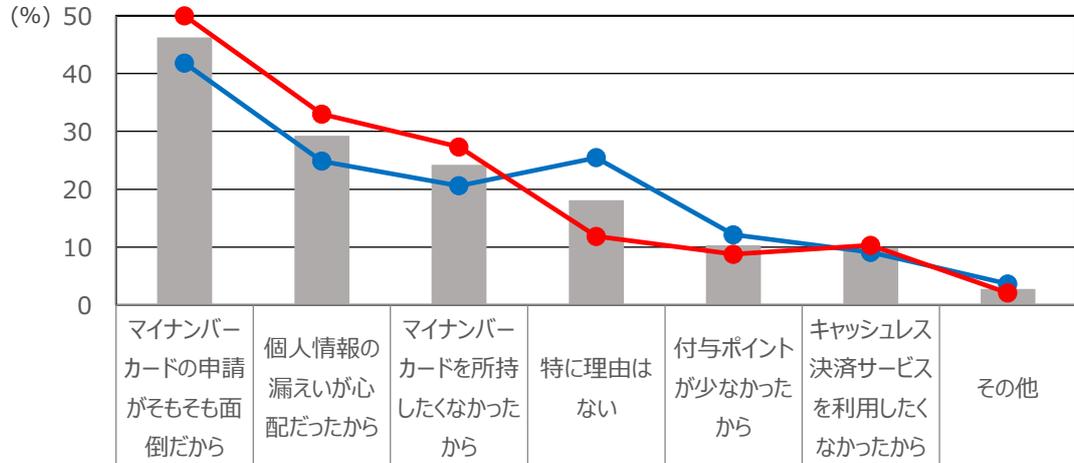
性別で見ると、男女ともに「マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから」を最も多く選択していた。また男女間で10%以上の乖離があったのは「特に理由はない」であった。

年代で見ると、20代は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高かった。50代は「マイナンバーカードを所持したくなかったから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。

年代×性別で見ると、20代男性は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上高く、一方で「マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから」、「個人情報の漏えいが心配だったから」、「マイナンバーカードを所持したくなかったから」を選択した人の割合は10%以上低かった。30代男性は「付与ポイントが低かったから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。40代男性は「マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。50代男性は「マイナンバーカードを所持したくなかったから」を選択した人の割合は10%以上高く、一方で「マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。30・40代女性は「特に理由はない」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。

50代女性は「キャッシュレス決済サービスを利用しなくなかったから」を選択した人の割合が全体に比べて10%以上高かった。

【図表 2-6-1】マイナポイント認知層の非申請理由(N=359) (複数回答)



	マイナンバーカードの申請がそもそも面倒だから	個人情報の漏えいが心配だったから	マイナンバーカードを所持しなくなかったから	特に理由はない	付与ポイントが少なかつたから	キャッシュレス決済サービスを利用しなくなかったから	その他
■ 全体(n=359)	46.2	29.2	24.2	18.1	10.3	9.7	2.8
● 男性(n=165)	41.8	24.8	20.6	25.5	12.1	9.1	3.6
● 女性(n=194)	50.0	33.0	27.3	11.9	8.8	10.3	2.1
20代(n=70)	37.1	25.7	14.3	31.4	10.0	7.1	5.7
30代(n=72)	47.2	31.9	25.0	15.3	12.5	12.5	1.4
40代(n=80)	53.8	31.3	20.0	11.3	12.5	6.3	6.3
50代(n=71)	42.3	32.4	35.2	15.5	7.0	14.1	0.0
60代(n=66)	50.0	24.2	27.3	18.2	9.1	9.1	0.0
20代男性(n=36)	30.6	13.9	8.3	41.7	11.1	8.3	8.3
30代男性(n=32)	43.8	25.0	18.8	25.0	21.9	12.5	3.1
40代男性(n=39)	56.4	28.2	17.9	15.4	7.7	7.7	5.1
50代男性(n=32)	34.4	31.3	37.5	21.9	9.4	6.3	0.0
60代男性(n=26)	42.3	26.9	23.1	23.1	11.5	11.5	0.0
20代女性(n=34)	44.1	38.2	20.6	20.6	8.8	5.9	2.9
30代女性(n=40)	50.0	37.5	30.0	7.5	5.0	12.5	0.0
40代女性(n=41)	51.2	34.1	22.0	7.3	17.1	4.9	7.3
50代女性(n=39)	48.7	33.3	33.3	10.3	5.1	20.5	0.0
60代女性(n=40)	55.0	22.5	30.0	15.0	7.5	7.5	0.0

### 3. マイナンバーカードによる新規サービスに対する反応

#### 3-1. 新規サービスに対する利用意向

マイナンバーカードによる新規サービスは、5つのサービスカテゴリー（①自己情報・証明書等取得サービス<sup>3</sup>、②手続き簡易化サービス<sup>4</sup>、③個別最適化サービス<sup>5</sup>、④シングルサインオンサービス<sup>6</sup>、⑤マイナンバーカード所持者限定サービス<sup>7</sup>）に分けて考案したものを提示し、利用意向を調査した。

全体で見ると「利用したい」が最も多く選択されたのは、①自己情報・証明書等取得サービスの「住民票」65.2%であり、次いで①自己情報・証明書等取得サービスの「戸籍謄本」（61.8%）、⑤所持者限定サービスの「電子投票」（54.1%）の順となった。

カテゴリー別にみると、「利用したい」が選択された上位3位のサービスは以下の通りとなった。【図表 3-1-1】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧（N=1,079）

- ① 自己情報・証明書等取得サービス:「住民票」（65.2%）、「戸籍謄本」（61.8%）、「収入証明書」（49.4%）
- ② 手続き簡易化サービス:「運転免許更新申請」（48.5%）、「相続手続き申請」（47.2%）、「航空券予約」（35.8%）
- ③ 個別最適化サービス:「病院のレコメンド」（29.9%）、「食事や運動メニューのレコメンド」（25.9%）、「配達依頼タイミングのレコメンド」（24.3%）
- ④ シングルサインオンサービス:「複数病院の受付オンライン予約」（37.0%）、「複数オンラインショッピングサイトの利用」（30.9%）、「複数オンラインバンキング」（29.7%）
- ⑤ マイナンバーカード所持者限定サービス:「電子投票」（54.1%）、「免許更新時のオンライン講習」（49.7%）、「消費税の減免・還付」（47.9%）

また「自分には関係ない」を母数から除いた「利用したい」、「利用したくない」の割合を、【図表 3-1-2】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧の通り算出した。

全体で見ると「利用したい」が選択された上位3位は【図表 3-1-1】の上位3位と同様である。

カテゴリー別にみると「利用したい」が選択された上位3位のサービスは以下の通りとなった。【図表 3-1-2】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧

- ① 自己情報・証明書等取得サービス:「住民票」（75.9%）、「戸籍謄本」（73.5%）、「収入証明書」（65.3%）
- ② 手続き簡易化サービス:「相続手続き申請」（67.2%）、「運転免許更新申請」（66.3%）、「海外渡航ビザ申請」（58.0%）および「航空券予約」（58.0%）
- ③ 個別最適化サービス:「病院のレコメンド」（49.5%）、「食事や運動メニューのレコメンド」（44.0%）、「配達依頼タイミングのレコメンド」（41.7%）
- ④ シングルサインオンサービス:「複数病院の受付オンライン予約」（52.2%）、「複数会場入場チケットの予約」（43.1%）、「複数オンラインバンキングの利用」（41.7%）

<sup>3</sup> 地方公共団体・国及び民間企業のそれぞれが保有している（する）あなたの情報や証明書等の取得がオンラインで可能になる事で、各種情報等の管理の一元化が期待できるサービス

<sup>4</sup> 地方公共団体・国及び民間企業のそれぞれが保有している（する）あなたの情報・証明書等からオンラインで手続きに必要なデータが抽出され、（必要に応じて）自動入力が可能になる事で、各種手続きの簡易化が期待できるサービス

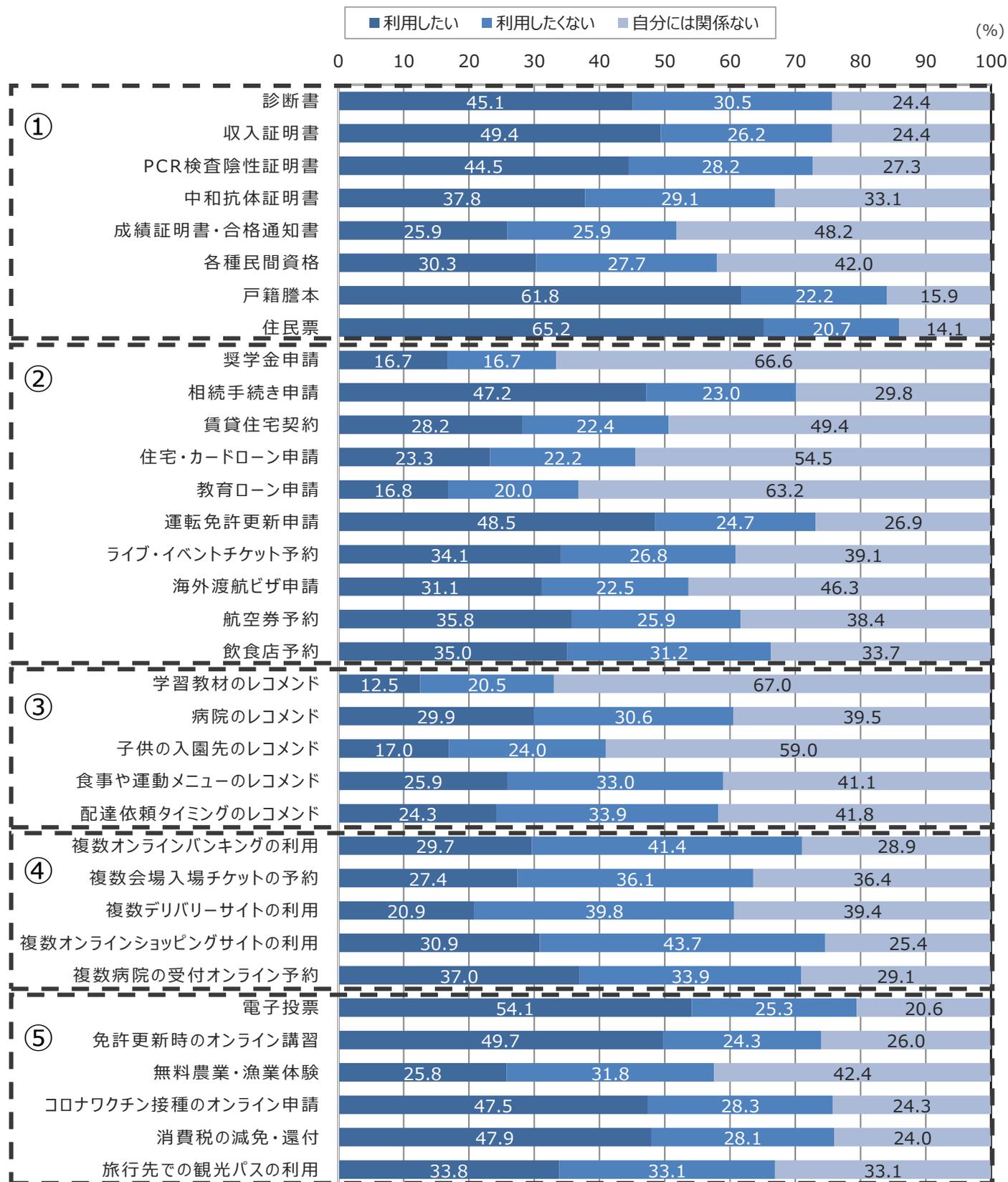
<sup>5</sup> 地方公共団体・国及び民間企業のそれぞれが保有している（する）あなたの情報等の活用許可を他民間企業等に出す事で、より自身の状況に沿ったサービス体験が期待できるサービス

<sup>6</sup> マイナンバーカード一枚で、複数 Web サービスへのアクセスが出来、一元的な ID・パスワードの管理が期待できるサービス

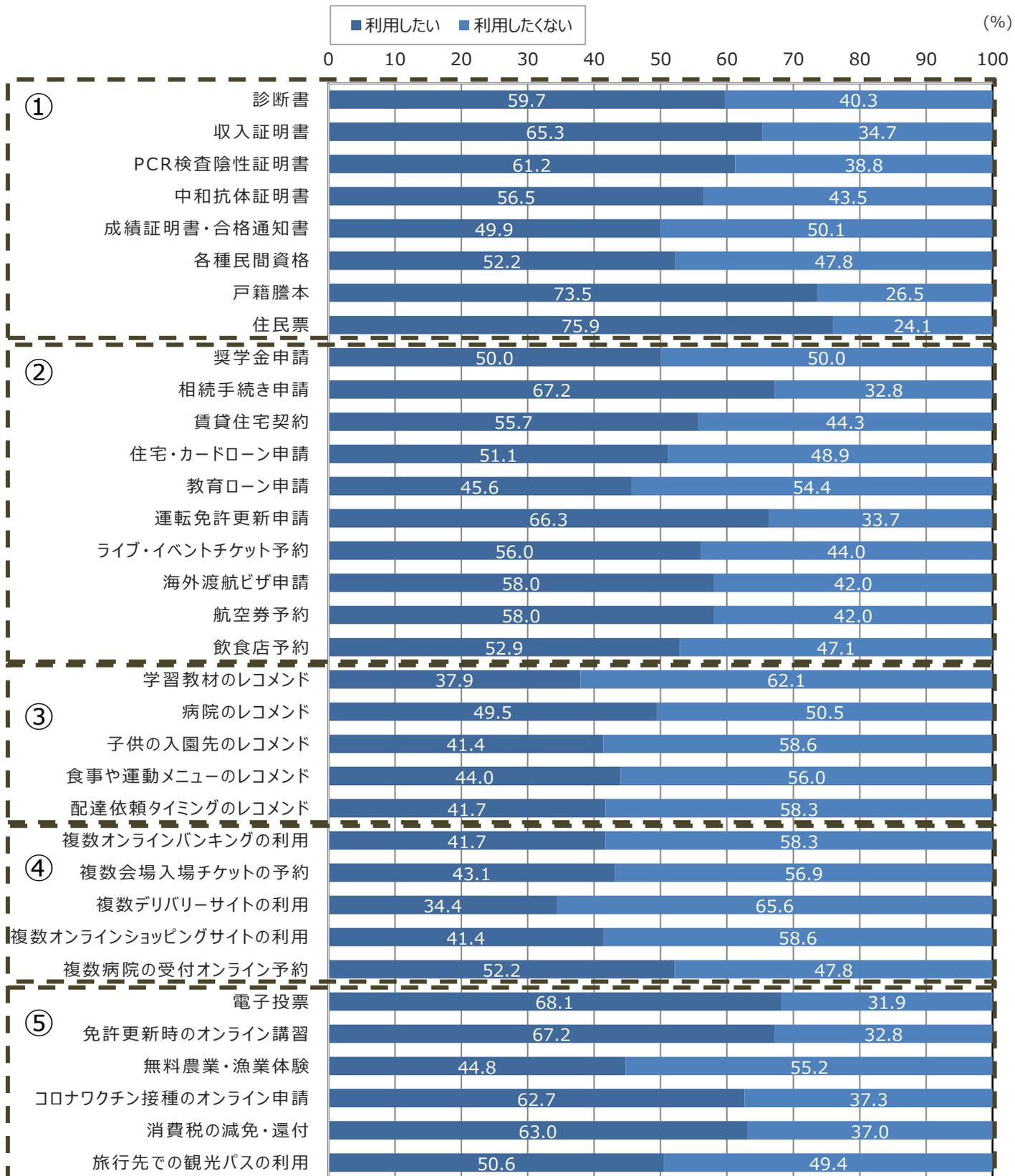
<sup>7</sup> マイナンバーカード所持者限定のサービス

- ⑤ マイナンバーカード所持者限定サービス:「電子投票」(68.1%)、「免許更新時のオンライン講習」(67.2%)、「消費税の減免・還付」(63.0%)

【図表 3-1-1】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧(N=1,079)



【図表 3-1-2】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧



## 3-2. サービスカテゴリー毎の利用意欲者層

3-1. の【図表 3-1-1】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧(N=1,079)の「利用したい」層の内訳をサービスカテゴリーごとに算出した。

### ① 自己情報・証明書等取得サービス

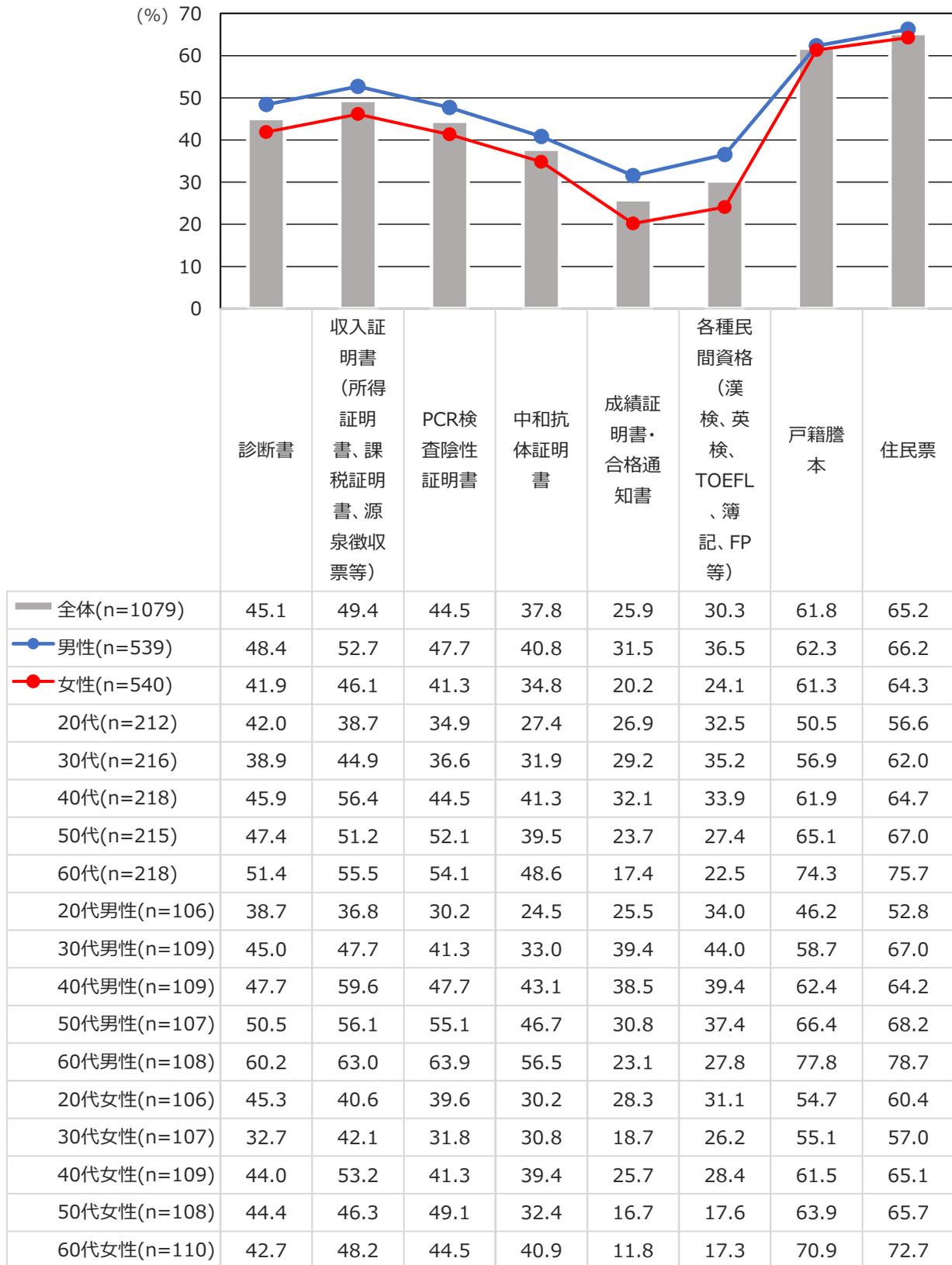
性別で見ると、男女ともに「住民票」を最も多く選択していた。また男女間で10%以上の乖離があったのは「成績証明書・合格通知書」、「各種民間資格(例:漢検、英検、TOEFL、簿記、FP等)」であった。

年代で見ると、20代は「収入証明書」、「中和抗体証明書<sup>8</sup>」、「戸籍謄本」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。60代は「中和抗体証明書」、「住民票」、「戸籍謄本」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上高かった。

年代と性別で見ると、20代男性は「収入証明書」、「PCR検査陰性証明書」、「中和抗体証明書」、「戸籍謄本」、「住民票」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。30代男性は「成績証明書・合格通知書」、「各種民間資格」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。40代男性は「収入証明書」、「成績証明書・合格通知書」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。50代男性は「PCR検査陰性証明書」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。60代男性は「成績証明書・合格通知書」、「各種民間資格」を除いた全ての選択肢を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。30代女性は「診断書」、「PCR検査陰性証明書」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。50代女性は「各種民間資格」を選択した人の割合が全体と比べて10%以上低かった。60代女性は「成績証明書・合格通知書」、「各種民間資格」を選択した人の割合が全体と比べ10%以上低かった。【図表 3-2-1】自己情報・証明書等取得サービスに対する利用意欲者内訳(N=1,079)

<sup>8</sup> 新型コロナワクチン接種後、体内に「中和抗体」が確認出来た場合に発行される証明書のこと

【図表 3-2-1】自己情報・証明書等取得サービスに対する利用意欲者内訳 (N=1,079)



## ② 手続き簡易化サービス

性別でみると、男性は「運転免許更新申請」を、女性は「相続手続き」を最も多く選択していた。また男女間で10%以上の乖離があったのは「住宅・カードローン申請」であった。

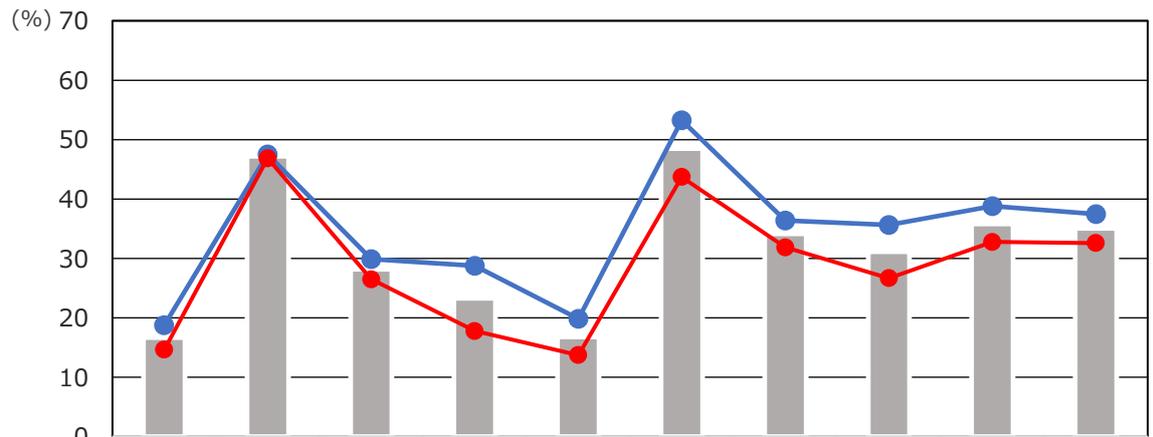
年代でみると、20代は「相続手続き申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。60代は「奨学金申請」、「賃貸住宅契約」、「住宅・カードローン申請」、「教育ローン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。

年代と性別でみると、20代男性は「相続手続き」、「ライブ・イベント予約」、「飲食店予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。30代男性は「住宅・カードローン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。50代男性は「運転免許更新申請」、「海外渡航ビザ申請」、「航空券予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。60代男性は「運転免許更新申請」、「海外渡航ビザ申請」、「航空券予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高く、一方で「奨学金申請」、「賃貸住宅契約」、「教育ローン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。50代女性は「住宅・カードローン申請」、「教育ローン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。60代女性は「賃貸住宅契約」、「住宅・カードローン申請」、「教育ローン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。【図表 3-2-2】手続き簡易化サービスに対する利用意欲者内訳(N=1,079)<sup>9,10</sup>

<sup>9</sup> 図中の□内は、抽出情報・証明書例

<sup>10</sup> 抽出情報・証明書例にPCR検査陰性証明書、中和抗体証明書が含まれているサービスは、with/after コロナの取組として、これら証明書の提示が今後要される可能性を見越したサービス

【図表 3-2-2】手続き簡易化サービスに対する利用意欲者内訳 (N=1,079)



	奨学金 申請 [合格 通知 書、収 入証明 書等]	相続手 続き申 請[戸 籍謄 本、住 民票 等]	賃貸住 宅契約 [収入 証明書 等]	住宅・ カード ローン 申請 [収入 証明書 等]	教育 ローン 申請 [収入 証明書 等]	運転免 許更新 申請 [視力 に關す る診断 書等]	ライブ・ イベント チケット 予約 [PCR 検査陰 性証明 書、中 和抗体 証明書]	海外渡 航ビザ 申請 [PCR 検査陰 性証明 書、中 和抗体 証明書]	航空券 予約 [PCR 検査陰 性証明 書、中 和抗体 証明書]	飲食店 予約 [PCR 検査陰 性証明 書、中 和抗体 証明書]
■ 全体(n=1079)	16.7	47.2	28.2	23.3	16.8	48.5	34.1	31.1	35.8	35.0
● 男性(n=539)	18.7	47.5	29.9	28.8	19.9	53.2	36.4	35.6	38.8	37.5
● 女性(n=540)	14.6	46.9	26.5	17.8	13.7	43.7	31.9	26.7	32.8	32.6
20代(n=212)	23.1	35.8	33.0	24.1	21.2	41.5	26.9	23.1	29.7	28.8
30代(n=216)	19.9	42.1	31.5	31.9	23.1	46.3	31.5	28.7	31.9	32.9
40代(n=218)	22.5	55.0	33.5	26.1	22.0	49.5	38.5	35.8	36.7	35.8
50代(n=215)	12.1	50.2	28.4	21.4	12.1	52.6	37.2	31.6	38.1	37.2
60代(n=218)	6.0	52.3	14.7	12.8	5.5	52.3	36.2	36.2	42.2	40.4
20代男性(n=106)	25.5	33.0	29.2	26.4	23.6	41.5	21.7	24.5	28.3	24.5
30代男性(n=109)	26.6	45.9	34.9	39.4	27.5	51.4	35.8	33.0	35.8	36.7
40代男性(n=109)	23.9	56.9	33.9	31.2	24.8	49.5	38.5	36.7	35.8	37.6
50代男性(n=107)	13.1	52.3	37.4	29.9	17.8	59.8	43.0	41.1	46.7	43.9
60代男性(n=108)	4.6	49.1	13.9	16.7	5.6	63.9	42.6	42.6	47.2	44.4
20代女性(n=106)	20.8	38.7	36.8	21.7	18.9	41.5	32.1	21.7	31.1	33.0
30代女性(n=107)	13.1	38.3	28.0	24.3	18.7	41.1	27.1	24.3	28.0	29.0
40代女性(n=109)	21.1	53.2	33.0	21.1	19.3	49.5	38.5	34.9	37.6	33.9
50代女性(n=108)	11.1	48.1	19.4	13.0	6.5	45.4	31.5	22.2	29.6	30.6
60代女性(n=110)	7.3	55.5	15.5	9.1	5.5	40.9	30.0	30.0	37.3	36.4

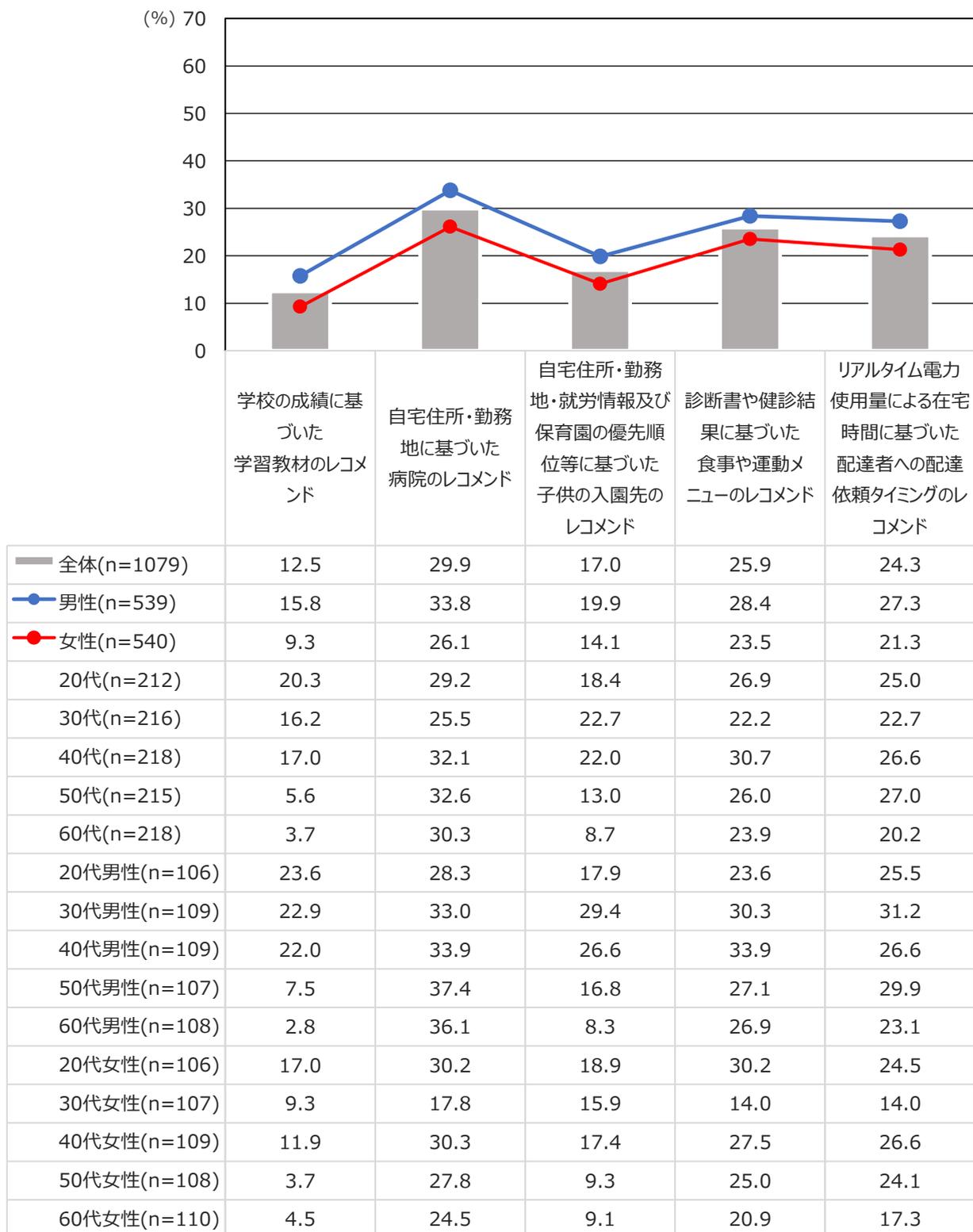
### ③ 個別最適化サービス

性別でみると、男女ともに「自宅住所・勤務地に基づいた病院のレコメンド」を最も多く選択していた。

年代でみると、20代は「学校の成績に基づいた学習教材のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて比較的高かった。30・40代は「自宅住所・勤務地・就労情報及び保育園の優先順位等に基づいた子供の入園先のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて比較的高かった。50代は「学校の成績に基づいた学習教材のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて比較的低かった。60代は「学校の成績に基づいた学習教材のレコメンド」、「自宅住所・勤務地・就労情報及び保育園の優先順位等に基づいた子供の入園先のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて比較的低かった。

年代×性別でみると、20代男性は「学校の成績に基づいた学習教材のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。30代男性は「学校の成績に基づいた学習教材のレコメンド」、「自宅住所・勤務地・就労情報及び保育園の優先順位等に基づいた子供の入園先のレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。30代女性は「自宅住所・勤務地に基づいた病院のレコメンド」、「診断書や健診結果に基づいた食事や運動メニューのレコメンド」、「リアルタイム電力使用量による在宅時間に基づいた配達者への配達依頼タイミングのレコメンド」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。【図表 3-2-3】個別最適化サービスに対する利用意欲者層内訳 (N=1,079)

【図表 3-2-3】個別最適化サービスに対する利用意欲者層内訳 (N=1,079)



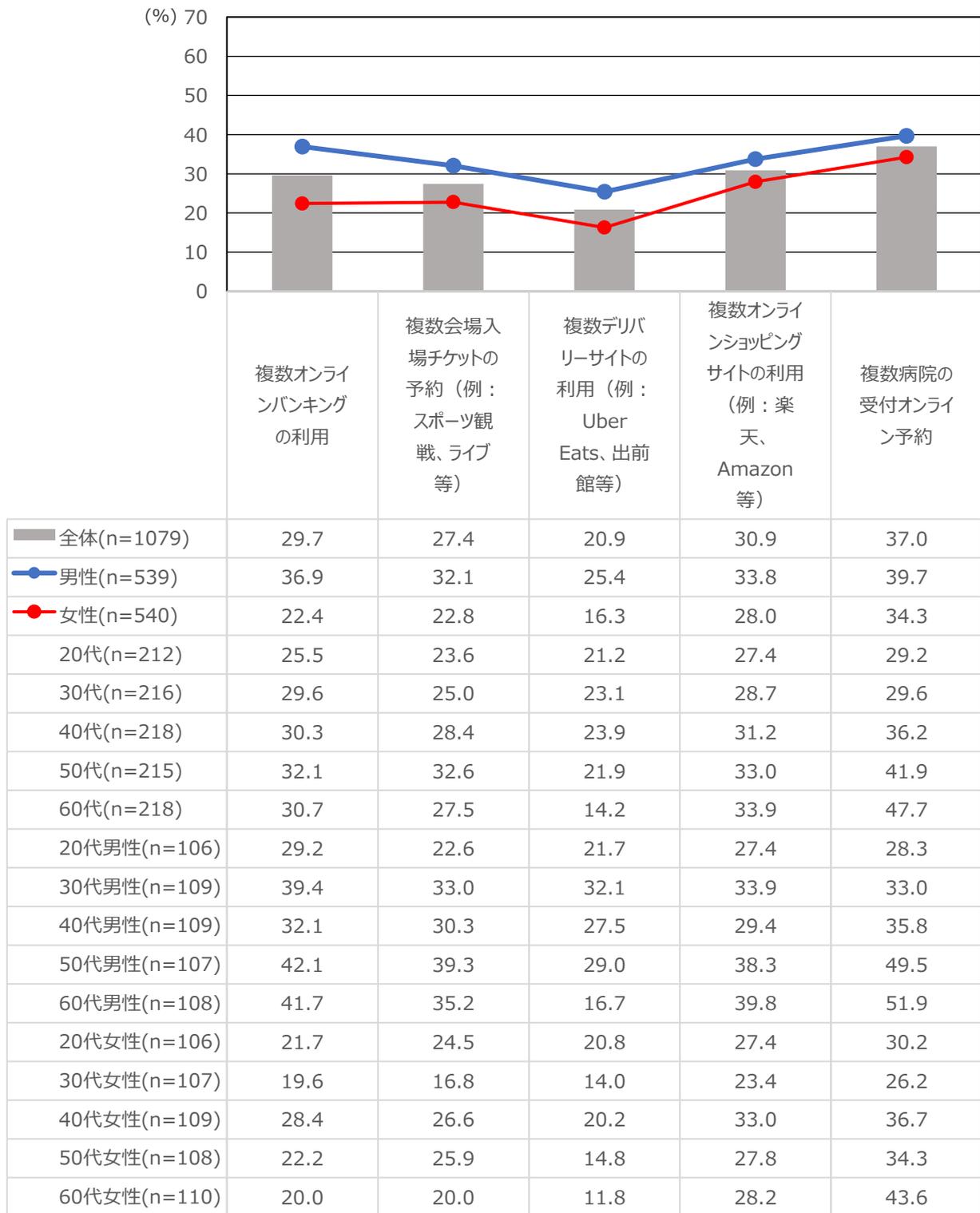
## ④ シングルサインオンサービス

性別で見ると、男女ともに「複数病院の受付オンライン予約」を最も多く選択していた。また、男女間で10%以上乖離があったのは「複数オンラインバンキングの利用」であった。

年代で見ると、60代は「複数病院の受付オンライン予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。

年代×性別で見ると、30代男性は「複数デリバリーサイトの利用」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。50代男性は「複数オンラインバンキングの利用」、「複数会場入場チケットの予約」、「複数病院の受付オンライン予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。60代男性は「複数オンラインバンキングの利用」、「複数病院の受付オンライン予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。30代女性は「複数オンラインバンキング」、「複数会場入場チケットの予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。【図表 3-2-4】シングルサインオンサービスに対する利用意欲者層内訳(N=1,079)

【図表 3-2-4】シングルサインオンサービスに対する利用意欲者層内訳 (N=1,079)



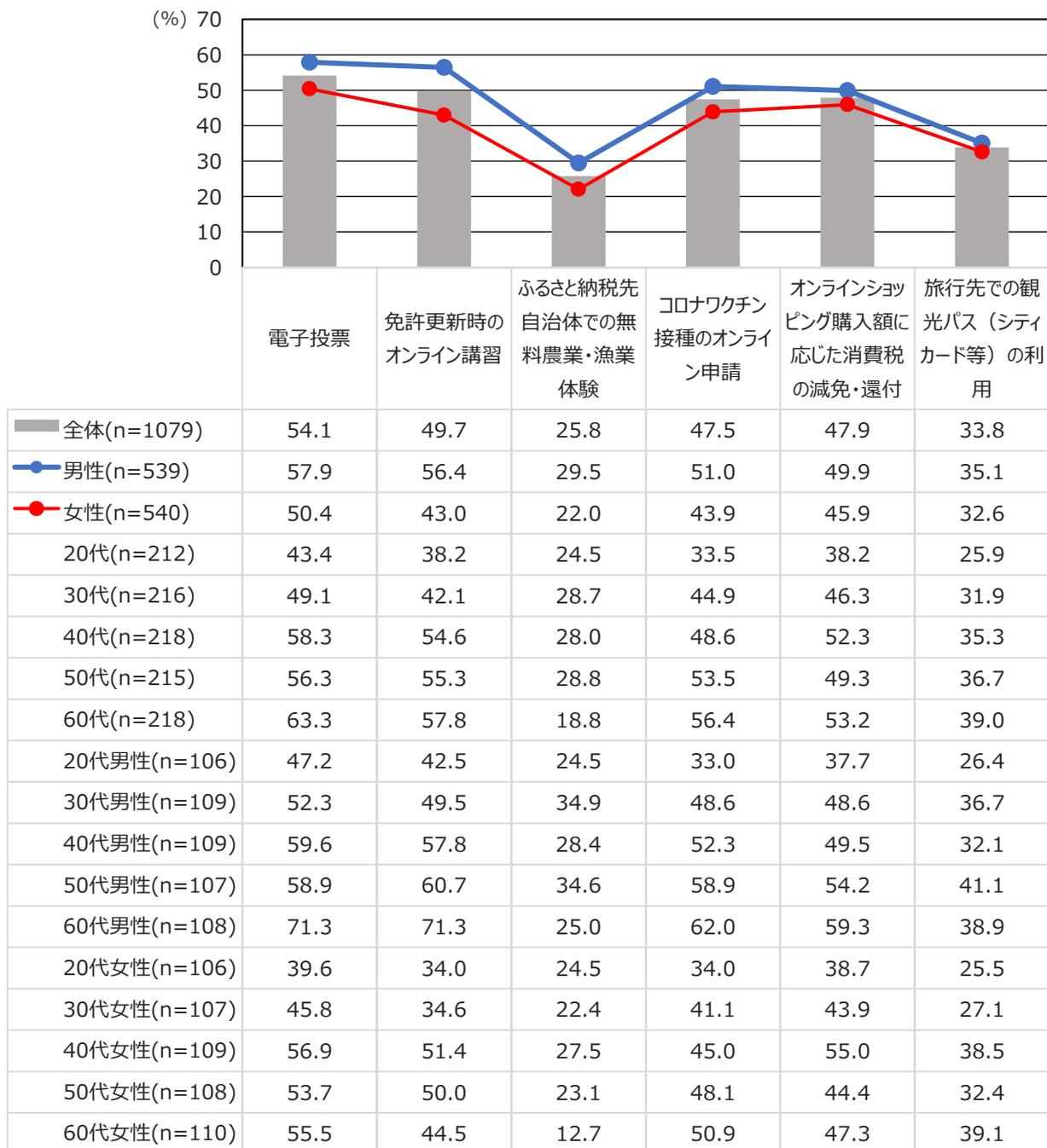
## ⑤ マイナンバーカード所持者限定サービス

性別で見ると、男女ともに「電子投票」を最も多く選択していた。また、男女間で10%以上乖離があったのは「免許更新時のオンライン講習」であった。

年代で見ると、20代は「電子投票」、「免許更新時のオンライン講習」、「コロナワクチン接種のオンライン申請」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。

年代×性別で見ると、20代男性は「コロナワクチン接種のオンライン申請」、「オンラインショッピング購入額に応じた消費税の減免・還付」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。50代男性は「免許更新時のオンライン講習」、「コロナワクチン接種のオンライン予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。60代男性は「電子投票」、「免許更新時のオンライン講習」、「コロナワクチン接種のオンライン予約」、「オンラインショッピング購入額に応じた消費税の減免・還付」を選択した人の割合が全体と比べて10%高かった。20代女性は「電子投票」、「免許更新時のオンライン講習」、「コロナワクチン接種のオンライン予約」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。30代女性は「免許更新時のオンライン講習」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。60代女性は「ふるさと納税先自治体での無料農業・漁業体験」を選択した人の割合が全体と比べて10%低かった。【図表 3-2-5】マイナンバーカード所持者限定サービスに対する利用意欲者層内訳 (N=1,079)

【図表 3-2-5】マイナンバーカード所持者限定サービスに対する利用意欲者層内訳 (N=1,079)



### 3-3. 新規サービスの分布

3-1. の新規サービスを領域別に分類し、【図表 3-1-2】マイナンバーカードによる新規サービス利用意向一覧の各サービスの「利用したい」率の平均から取った平均値(54.1%)を基準にした、全新規サービス内での相対関係を【図表 3-3-1】新規サービス分布図のように表わした。

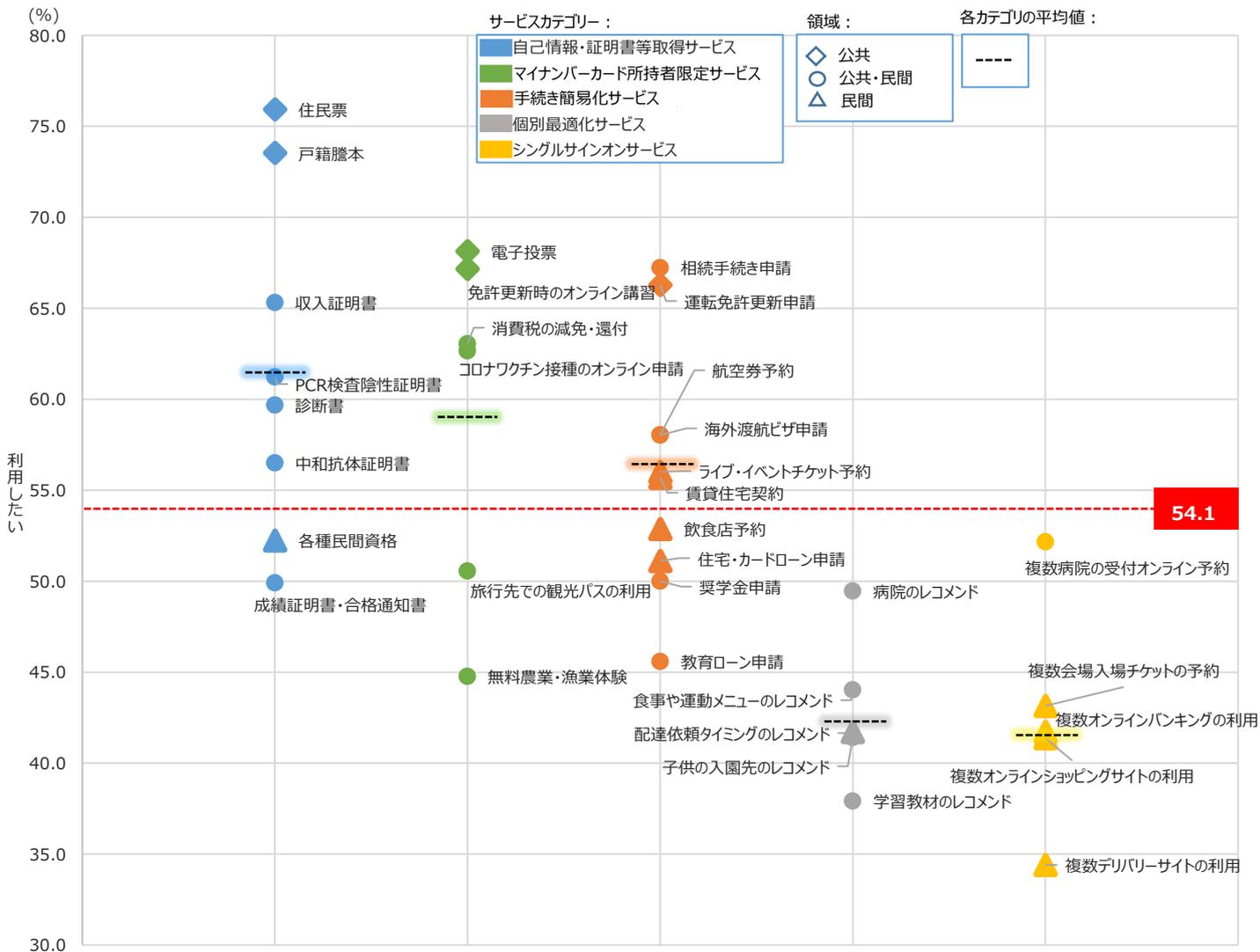
サービスカテゴリーごとの平均値は以下の順になった。

- ① 自己情報・証明書等取得サービス:61.8%
- ② マイナンバーカード所持者限定サービス:59.4%
- ③ 手続き簡易化サービス:56.1%
- ④ 個別最適化サービス:42.9%

⑤ シングルサインオンサービス:42.6%

5つの新規サービスカテゴリーのうち「利用したい」率が最も高く出たサービスカテゴリーは、自己情報・証明書等取得サービスであった。中でも「住民票」、「戸籍謄本」の「利用したい」率は平均値より約20%以上上回っていた。また領域別でみた場合、平均値を上回っていたのは、公共系および一部公共-民間(官民連携)系のサービスであった。

【図表 3-3-1】新規サービス分布図



4. マイナンバーカード申請意向と阻害要因

4-1. 新規サービス利用意欲者のマイナンバーカード申請意向

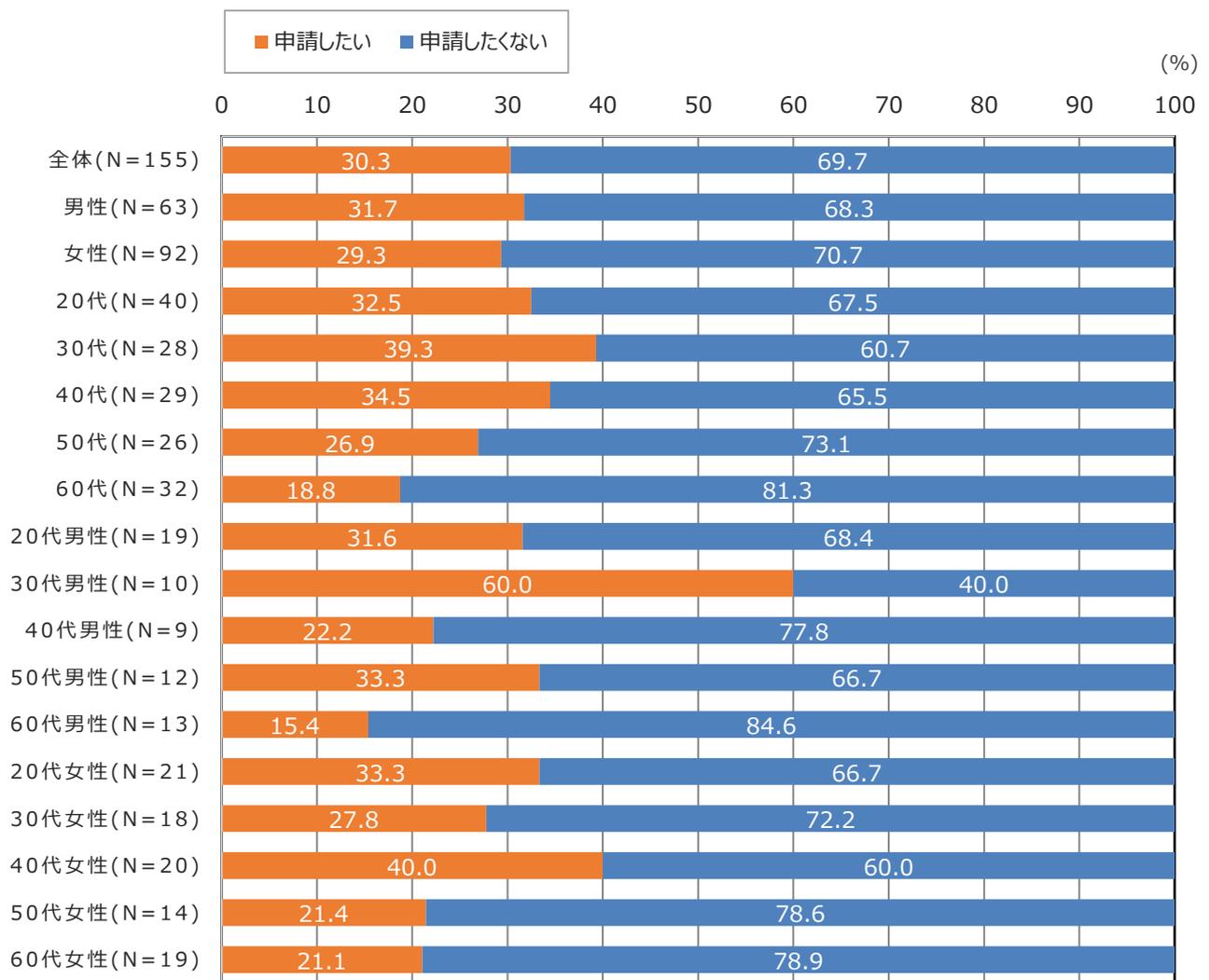
3-2.のうち、1-1.で「取得していないし、今後も申請する予定はない」を選択した人に、マイナンバーカード申請意向を調査した。

全体でみると、「申請したくない」が69.7%、「申請したい」が30.3%となった。

性別でみると、男女ともに「申請したくない」を最も多く選択していた。

年代でみると、60代、50代、20代、40代、30代の順に「申請したくない」を選択した人の割合が多い。【図表 4-1-1】新規サービス利用意欲者のマイナンバーカード申請意向(N=155)

【図表 4-1-1】新規サービス利用意欲者のマイナンバーカード申請意向 (N=155)



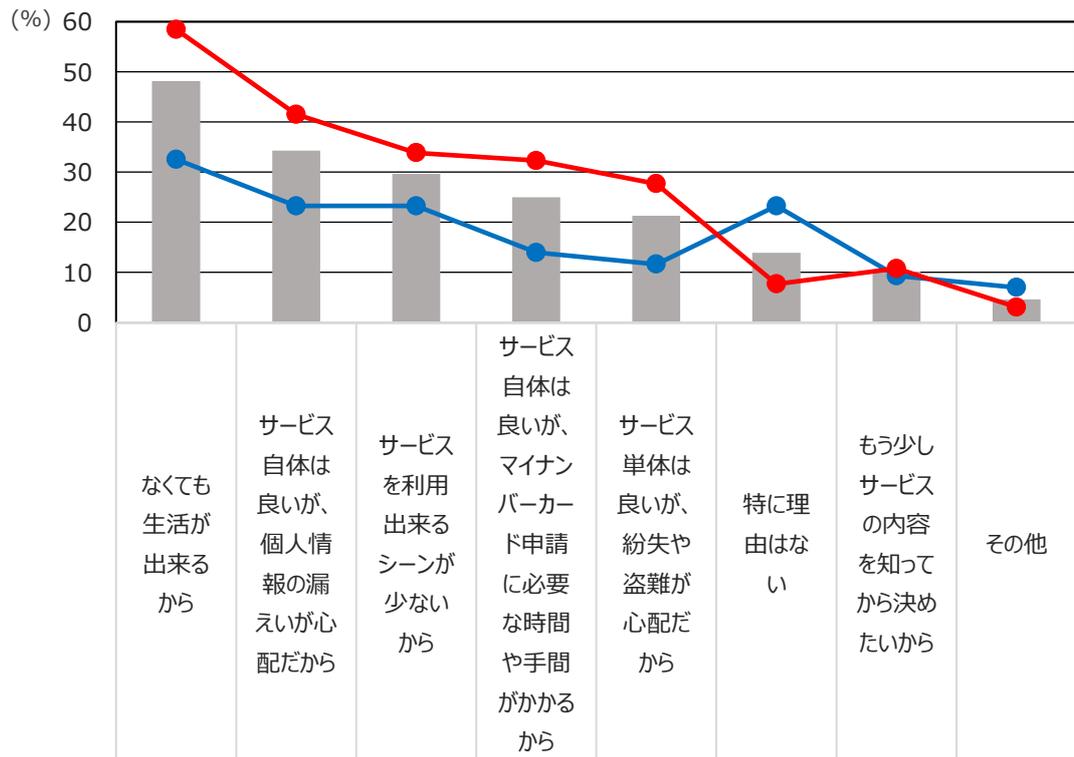
## 4-2. 申請したくない理由

4-1. で「申請したくない」を選択した人に、申請したくない理由を調査した。

全体で見ると、「なくても生活が出来るから」が48.1%と最も高く、次いで「サービス自体は良いが、個人情報の漏えいが心配だから」(34.3%)、「サービスを利用出来るシーンが少ないから」(29.6%)の順となった。

性別で見ると、男女ともに「なくても生活が出来るから」を最も多く選択していた。また、男女間で10%以上乖離があったのは「なくても生活が出来るから」、「特に理由はない」、「サービス自体は良いが、マイナンバーカード申請に必要な時間や手間がかかるから」、「サービス自体は良いが、個人情報の漏えいが心配だから」であった。【図表 4-2-1】申請したくない理由 (N=108) (複数回答)

【図表 4-2-1】申請したくない理由(N=108) (複数回答)



	なくても生活ができるから	サービス自体は良いが、個人情報の漏えいが心配だから	サービスを利用出来るシーンが少ないから	サービス自体は良いが、マイナンバーカード申請に必要な時間や手間がかかるから	サービス単体は良いが、紛失や盗難が心配だから	特に理由はない	もう少しサービスの内容を知ってから決めたいから	その他
■ 全体(n=108)	48.1	34.3	29.6	25.0	21.3	13.9	10.2	4.6
● 男性(n=43)	32.6	23.3	23.3	14.0	11.6	23.3	9.3	7.0
● 女性(n=65)	58.5	41.5	33.8	32.3	27.7	7.7	10.8	3.1
20代(n=27)	25.9	25.9	14.8	22.2	22.2	33.3	7.4	3.7
30代(n=17)	58.8	29.4	17.6	17.6	23.5	17.6	5.9	5.9
40代(n=19)	57.9	36.8	21.1	36.8	26.3	0.0	21.1	10.5
50代(n=19)	47.4	36.8	52.6	36.8	21.1	5.3	5.3	0.0
60代(n=26)	57.7	42.3	42.3	15.4	15.4	7.7	11.5	3.8
20代男性(n=13)	30.8	7.7	30.8	7.7	0.0	46.2	0.0	7.7
30代男性(n=4)	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0	0.0	0.0
40代男性(n=7)	42.9	28.6	0.0	14.3	28.6	0.0	28.6	14.3
50代男性(n=8)	25.0	37.5	37.5	50.0	37.5	0.0	12.5	0.0
60代男性(n=11)	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1
20代女性(n=14)	21.4	42.9	0.0	35.7	42.9	21.4	14.3	0.0
30代女性(n=13)	69.2	38.5	23.1	23.1	30.8	0.0	7.7	7.7
40代女性(n=12)	66.7	41.7	33.3	50.0	25.0	0.0	16.7	8.3
50代女性(n=11)	63.6	36.4	63.6	27.3	9.1	9.1	0.0	0.0
60代女性(n=15)	73.3	46.7	53.3	26.7	26.7	6.7	13.3	0.0

以上